

学生の確保の見通し等を記載した書類

名古屋柳城女子大学

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

- 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
 - (1) 学生の確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
 - ア 定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
 - イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要・・・・・・・・ p. 6
 - ウ 学生納付金の設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 17
 - (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 17
- 2. 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 21
 - (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・ p. 21
 - (2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 22

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

(1) 入学定員設定の考え方

本学では、女子大学としての「名古屋柳城女子大学」に「こども学部こども学科」70名の設置とともに、名古屋柳城短期大学に保育科130名の併設を計画している。

本学院は、創始者が明治31年に保姆養成を始め、昭和28年には保育者養成校として柳城女子短期大学を開学、現在の名古屋柳城短期大学に改称し、今日まで保育者養成校として多くの保育・幼児教育の人材を社会へ輩出してきた。本短期大学の志願倍率は、平成26年度から平成30年度の過去5年間の平均で1.41倍と入学定員以上の志願者数で推移している（資料1）。このことは、社会で活躍できる保育・幼児教育への関心の高さを示すものであると同時に、本学科の保育・幼児教育の質の高い教育が評価されていることの表れであると考えられる。

しかし、日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、平成26年度から平成30年度まででは、大学の志願者数は短期大学の志願者数の37倍から55倍で推移し、明らかに四大志向である（資料2）。たとえば、本学の平成26年度から平成30年度の過去5年間の志願状況を入学定員130名で算出すると、過去5年間の平均志願倍率は2.17倍となり、入学者選抜に問題のない志願者数を確保できると考えられる（資料3）。また、この志願倍率2.17倍は、日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立大学・短期大学等入学志願動向」による平成26年度から平成30年度までの過去5年平均1.37倍の志願倍率を大きく上回ることになる（資料2）。この入学志願動向の現状を鑑み、教育の質を維持することを前提として、名古屋柳城短期大学では保育科200名の入学定員を70名削減のうえ、130名の入学定員を設定して、学生の質を落とすことなく定員を充足していくことができるものと考えられる。

既述のように志願動向は受験生の四年制大学への流れであり、これまで短期大学志望者が多数を占めてきた保育・幼児教育分野においても同様の動きがあり、日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立大学・短期大学等入学志願動向（教育系）」による平成26年度から平成30年度まででみると、大学の志願者数は短期大学の志願者数の3.0倍から4.2倍で推移している（資料4）。

また、国から「待機児童解消に向けた取り組み」が発表され（資料5）、保育の受け皿の増員が期待される需要環境であり、このことにより保育に興味のある高校生が強い関心を持つことにつながり、本学新設の四年制大学へ志望する学生も増加するものと考えられる。

この現状を鑑みて、「名古屋柳城女子大学」の四年制大学の開学に伴い、「こども学部こども学科」に70名の入学定員を設定し、より高度な幼稚園教諭・保育士資格を求める受験生のニーズに応え、学生の質を落とすことなく定員を充足していくことができるものと考えられる。

2) 定員を充足する見込みがあることについて

(1) 愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況による見通し

愛知県が発表している平成 29 年度「愛知の教育統計」によると、愛知県内の高等学校を卒業した者（男女）の過去 3 年間の大学進学状況は、平成 29 年度は卒業生 65,204 名のうち大学進学者が 34,813 名（進学率 53.4%）、平成 28 年度は卒業生 63,579 名のうち大学進学者が 34,127 名（進学率 53.7%）、平成 27 年度は卒業生 63,156 名のうち大学進学者が 33,950 名（進学率 53.8%）であり、大学進学者は増加しているが、大学進学率は減少している（資料 6）。また、愛知県内の高等学校を卒業した者の過去 10 年間の大学進学率は、平成 20 年度の 51.8%から平成 29 年度の 53.4%と上昇している（資料 6）。

さらに、地元進学率でみると平成 29 年度では、愛知県は全国 1 位の大学進学率（72.0%）（資料 7）であり、地元大学への進学意欲の高い生徒の比率が高いといえる。

それでは、女子の愛知県内の高等学校を卒業した者の過去 3 年間の大学進学状況は、平成 29 年度は卒業生 32,753 名のうち大学進学者が 17,055 名（進学率 52.1%）、平成 28 年度は卒業生 31,860 名のうち大学進学者が 16,456 名（進学率 51.7%）、平成 27 年度は卒業生 31,758 名のうち大学進学者が 16,275 名（進学率 51.2%）であり、女子の大学進学者は増加し、前述の男子と女子を合わせた大学進学率が減少しているにもかかわらず、女子の大学進学率は増加傾向にある（資料 11-1）。これは、男子の四年制大学への進学率が減る一方で、女子の四年制大学への進学率及び進学者数が増加していることを意味している。この点についても、本学が新設する四年制の女子大学である「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」は、現在の愛知県内（女子）の大学進学者数及び大学進学率の現状に合致したものと考えられる。

(2) 愛知県内の高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」によると、「名古屋柳城女子大学」が開設年度となる愛知県内の高等学校（本科）に在籍している状況（男女）は、開設 1 年目（平成 32 年度）に受験対象者となる 1 年生の生徒数は 65,020 人である（資料 8）。また、開設 2 年目（平成 33 年度）に受験対象者となる中学校 3 年生（男女）の生徒数 71,400 人、開設 3 年目（平成 34 年度）に受験対象者となる中学校 2 年生（男女）の生徒数 70,042 人、完成年度（平成 35 年度）に受験対象者となる中学校 1 年生（男女）の生徒数 69,506 人である（資料 9）。中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（男女）は、平成 27 年度から平成 29 年度の平均は 98.3%であり、増加傾向にある（資料 10）。

それでは、女子で開設 1 年目（平成 32 年度）に受験対象者となる高校 1 年生の生徒数は 32,114 名である（資料 11-3）。また、開設 2 年目（平成 33 年度）に受験対象者となる中学校 3 年生の生徒数 34,759 名、開設 3 年目（平成 34 年度）に受験対象者となる中学校 2 年生の生徒数 34,260 名、完成年度（平成 35 年度）に受験対象者となる中学校 1 年生の生徒数 34,221 名である（資料 11-4）。中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（女子）は、過去 3 年間の平均 98.5%であり、同様に増加傾向にある（資料 11-2）。

特に男子と女子を合わせた中学生の高等学校等への進学率よりも、女子のみの中学生の高等学校等への進学率の方が高いことを勘案すると、今後、愛知県内の大学受験対象者が大きく減少することなく、中長期的な観点から確保ができると考えられる。

(3) 学生の通学に至便な立地条件

愛知県は、県中央部に位置する県庁所在地の名古屋市があり、県西部及び南部（知多地区）の尾張地区（名古屋市は尾張地区に含まれる）、県東部の三河地区に分かれる。愛知県内の私立大学は、名古屋市内に 7 大学、名古屋市以外の尾張地区に 7 大学、三河地区に 2 大学のキャンパスがある。

「名古屋柳城女子大学」が位置する名古屋市は、愛知県内の中心都市であり、愛知県内最大の人口を有している。そして、本学のキャンパスは、名古屋駅から公共交通機関（地下鉄）で 15 分ほどの通学に至便な立地にあることから（資料 12）、愛知県全域をはじめ岐阜県、三重県などの隣接県からの通学も可能となっている（資料 13）。

また、大学設置の計画を策定するに当たり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的とした「大学の新設に関するアンケート（高校 2 年生対象）」調査（資料 14-1）を、平成 30 年 6 月から平成 30 年 7 月にかけて愛知県内の高等学校 70 校（名古屋地区 29 校、尾張地区 35 校、三河地区 6 校）（資料 15-2）の 2 年生男女（平成 32 年度入試受験予定者）を対象に実施し、合わせてアンケート調査用紙配付時に回答者に対する新学部新学科の内容を極力周知する観点から別紙資料（資料 15-1）も配付して、70 校から高校 2 年生女子 4,745 名（名古屋柳城短期大学に関する質問事項は男子回答者 2,698 名も対象）の回答を得た（資料 14-2 設問 R1）。このアンケートの中で、「名古屋柳城女子大学（仮称）の新設をどう思われるか」の質問について、「交通至便の名古屋市内に大学ができることは、進路選択の拡がりが良いことだと思う」と回答した者が選択肢の中で一番多い 1,443 名で、全体の 37.4%を占めている（資料 14-2 設問 Q4）。この点についても、名古屋市内に位置する「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」は、学生の通学に至便な立地にキャンパスがあり、学生のニーズに応えた大学であるといえる。

(4) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

愛知県内の幼児教育分野で、「名古屋柳城女子大学」と競合する私立大学は 16 大学あり、いずれの大学も、保育・幼児教育関係の学部・学科を持ち、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格の同時取得可能な大学である。既述のように地域別で分けると、「名古屋柳城女子大学」が位置する政令指定都市の名古屋市内に 7 大学、名古屋市内以外の尾張地区に 7 大学、三河地区に 2 大学がある。

愛知県内の私立大学 16 大学全体の志願倍率は、平成 26 年度から平成 30 年度の過去 5 年平均で 4.13 倍であり、同様に定員超過率は 96%であるが（資料 16）、地区別でみると、名古屋市内が 5.19 倍、定員超過率は 106%となり、他の地域よりも高くなっている（資料 17-1）。また、女子大学と共学大学でみると、志願倍率では女子大学が 4.71 倍、定員超過率は 102.5%となり、共学大学よりも高くなっている。さらに、名古屋地区と隣接する尾張地区の女子大学を合わせた定員超過率では、より女子大学の定員超過率が高く（106.8%）なっている（資料 17-2）。

これらの状況から、「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」と同じく位置する名古屋市内の同分野の私立女子大学において、安定した志願者確保と定員充足の状況を維持しており、学生が高い関心を持っている分野であるといえる。

(5) 「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」への関心度

「大学の 신설に関するアンケート（高校 2 年生対象）」調査の中で、「保育・幼児教育について関心はあるのか」についての質問で、「関心がある」と回答した者は、873 名（22.6%）、「どちらかといえば関心がある」と答えた者は、853 名（22.1%）であった（資料 14-2 設問 Q5）。

また、「新たに保育・幼児教育に特化した保育士資格・幼稚園教諭 1 種免許の取得が可能な学部を持つ 4 年制大学ができるとしたら関心があるのか」の質問では、「関心がある」と回答した者は、543 名（19.1%）、「どちらかといえば関心がある」と答えた者は、677 名（23.8%）であった（資料 14-2 設問 Q6）。

さらに、「その理由は何か」との問いでは、「保育・幼児教育の職に就きたいから」と回答した者は、399 名（32.7%）と最も多く、ついで「進学先・進路の選択肢が増えるから」が 379 名（31.1%）であり、2つの項目を合わせた比率（63.8%）は、全体の半数を超えている（資料 14-2 設問 Q7）。このことから、本学新設大学への関心を示す高校生の割合が高いと考えられる。

次に、「保育者養成に実績を持つ柳城が、保育士資格・幼稚園教諭 1 種免許を取得できる 4 年制大学を設置した場合、その学部・学科の受験もしくは受験を検討するのか」についての質問で、「受験をする」を回答した者は 58 名（4.8%）で、「一応受験を考える」を回答した者は 198 名（16.2%）、「受験校の一つとして考える」を回答した者は 355 名（29.1%）であった（資料 14-2 設問 Q8）。この「受験をする」と「一応受験を考える」、「受験校の一つとして考える」を合わせた 611 名（50.1%）の数値は、入学定員の 8.7 倍以上である。従って、この回答をした生徒は、「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科（入学定員 70 名）」への受験の意向が高いことの表れであり、このことから、入学定員 70 名を充足する受験生の確保は十分可能と考えている。

そして、「保育者養成に実績を持つ柳城の 4 年制大学に合格した場合、進学を希望するか」についての質問で、「進学を希望する」を回答した者は 74 名（12.1%）で、「一応進学を考える」を回答した者は 127 名（20.8%）、「進学先の一つとして考える」を回答した者は 133 名（21.8%）であった（資料 14-2 設問 Q9）。この「進学を希望する」と「一応進学を考える」、「進学先の一つとして考える」を合わせた 334 名（54.7%）の数値は、入学定員の 4.8 倍に相当する。従ってこの回答をした生徒は、「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科（入学定員 70 名）」への進学の意向が高いといえる。特に「進学を希望する」を回答した者（74 名）で入学定員を上回っていることは、本学の 신설学部 신설学科に対する高い期待度の表れである。このことから入学定員 70 名を充足する入学生生の確保は十分可能と考えている。

また、「名古屋柳城短期大学保育科（共学）に受験もしくは受験を検討するのか」についての質問で、「受験をする」を回答した者は男女 17 名（3.3%）で、「一応受験を考える」を回答した者は男女 39 名（7.5%）、「受験校の一つとして考える」を回答した者は男女 105 名（20.2%）であった（資料 14-2 設問 Q1）。この「受験をする」と「一応受験を考える」、「受験校の一つとして考える」を合わせた男女 161 名（31.0%）の数値を志願者数に置き換えて、入学定員（130 名）で志願倍率を算出すると 1.24 倍となり、この志願倍率（1.24 倍）は、日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立

大学・短期大学等入学志願動向（教育系）」による直近の2年間、平成28年度(1.18倍)、平成29年度(1.10倍)の志願倍率を上回っている(資料4)。従って、この回答をした生徒が「名古屋柳城短期大学保育科(入学定員130名)」への受験の意向が高いことがうかがえ、このことから入学定員130名を充足する受験生の確保は可能と考えている。

そして、「名古屋柳城短期大学保育科に合格した場合、進学を希望するのか」についての質問で、「進学を希望する」を回答した者は男女42名(26.1%)で、「一応進学を考える」を回答した者は、男女36名(22.4%)、「進学先の一つとして考える」を回答した者は男女69名(42.9%)であった(資料14-2設問Q2)。この「進学を希望する」と「一応進学を考える」、「進学先の一つとして考える」を合わせた男女147名(91.4%)の数値は、本学を「受験をする」等を回答した者(161名)に対する進学への意向比率(入学予定率)は91.3%(=147/161名)と非常に高くなっている。従って、この回答をした生徒が「名古屋柳城短期大学保育科(入学定員130名)」への進学の意向や入学定員を上回っている状況を鑑みると、入学定員130名を充足する入学生の確保は可能と考えている。

(6)卒業後の就職の見通し

本短期大学は、多くの保育・幼児教育関係の卒業生を社会に送り出している。平成30年3月31日現在の実績では学生の就職内定率は100.0%であり、就職内定者の97.8%の学生は、幼稚園・保育所(園)・福祉施設などの専門職に従事している。また、平成25年度から平成29年度の過去5年間をみても全ての年度で93%以上であり、安定的に幼稚園・保育所(園)・福祉施設などの専門職に従事していることが明らかである(資料18)。この点からも、本短期大学の保育科の保育・幼児教育の質の高い教育が評価されていることの表れであると考えられる。このことから、新設大学の学生に関しても同程度の就職内定率を確保できるものと考えている。

愛知県内の幼児教育分野で、「名古屋柳城女子大学」と競合する私立大学及び私立短期大学の就職状況について触れることにする。近年、高校生からのニーズで、公務員志向の傾向があり、保育・幼児教育の分野でもその傾向が表れている(資料19)。特に、短期大学よりも四年制大学の方が、公立保育士及び公立幼稚園教諭の採用者が多くなっている(資料20)。本短期大学の公立保育士及び公立幼稚園教諭は、平成25年度から平成29年度の過去5年間で見ると18名以上採用され、直近の2年間では各年25名採用されている(資料18)。また、平成29年度の本短期大学の公立保育士及び公立幼稚園教諭を合わせた採用数は、愛知県内の12短期大学の中で3番目に多く(資料20)、四年制大学での学修支援・実習支援を踏まえた教育プログラムを積極的に活用することにより、さらなる採用者増を目指すことができると考えられる。また、同様に過去5年間の公立保育士及び公立幼稚園教諭の採用状況を女子大学と共学大学と比較すると、女子大学5校の公立保育士及び公立幼稚園教諭の合わせた採用数が、共学11校の採用数を全ての年度で上回っている(資料21)。この点について本学の新設する女子大学は、高校生のニーズ(公務員志向)に応えうる大学と考えられる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 入学定員設定の考え方の根拠となる客観的なデータの概要について

①名古屋柳城短期大学保育科志願者数等の推移（5年間）（資料1）

本短期大学の平成26年度から平成30年度までの入試状況（入学定員・志願者数・受験者数・合格者数・入学者数等）をまとめたものである。この資料で、志願倍率は、平成26年度から平成30年度の過去5年間の平均で1.41倍と入学定員以上の志願者数で推移している。このことは、社会で活躍できる保育・幼児教育への関心の高さを示すものであると同時に、本学科の保育・幼児教育の質の高い教育が評価されていることの表れであると考えられる。

②私立大学・短期大学志願者数等の推移（全体：5年間）（資料2）

日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立大学・短期大学等入学志願動向（全体）」のデータ（入学定員・志願者数・志願倍率）を、大学と短期大学の区分でまとめたものである。この資料によると、平成26年度から平成30年度まででみると、大学の志願者数は短期大学の志願者数の37倍から55倍で推移し、明らかに四大志向である。

③名古屋柳城短期大学保育科の入学定員を130名に設定した場合（5年間）（資料3）

本短期大学の平成26年度から平成30年度までの志願状況（入学定員・志願者数・入学者数等）（資料1）を入学定員130名で算出したものである。入学定員を130名に設定した場合の過去5年間の平均志願倍率は2.17倍となり、入学者選抜に問題のない志願者数を確保できると考えられる。また、この志願倍率2.17倍は、（資料2）の資料により、平成26年度から平成30年度までの過去5年平均1.37倍の志願倍率を大きく上回ることになる。この入学志願動向の現状を鑑み、教育の質を維持することを前提として、名古屋柳城短期大学では保育科200名の入学定員を70名削減のうえ、130名の入学定員を設定して、学生の質を落とすことなく定員を充足していくことができるものと考えられる。

④私立大学・短期大学志願者数等の推移（教育系：5年間）（資料4）

日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立大学・短期大学等入学志願動向（教育系）」のデータ（入学定員・志願者数・入学者数等）を、大学と短期大学の区分でまとめたものである。この資料によると、平成26年度から平成30年度まででみると、大学の志願者数は短期大学の志願者数の3.0倍から4.2倍で推移している。このことから、四年制大学と同様に、短期大学志望者が多数を占めてきた保育・幼児教育分野においても四大志向である。

⑤待機児童解消に向けた取組（資料5）

国から「待機児童解消に向けた取組（平成29年6月）」が発表された。この中で、「保育士確保プラン（平成27年1月策定）」では、「加速化プラン」の確実な実施に向け、平成29年度末までに、新たに必要となる約7万人の保育士を確保することとなっている。また、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策（平成27年11月とりまとめ）」では、

平成 29 年度末までの整備拡大量を 40 万人から 50 万人に拡大し、「加速化プラン」に基づく認可保育所等の整備の前倒しを図り、その際に必要となる保育人材として約 9 万人を確保するとしている。さらに、「ニッポン一億総活躍プラン（平成 28 年 6 月閣議決定）」では、保育人材の確保に総合的に取り組むとともに、平成 30 年度以降も保育の受け皿確保に取り組むとしている。

このことから、保育の受け皿の増員が期待される需要環境であり、このことにより保育に興味のある高校生が強い関心を持つことにつながり、本学新設の四年制大学への志望する生徒も増加するものと考えられる。

この現状を鑑みて、「名古屋柳城女子大学」の四年制大学の開学に伴い、「こども学部こども学科」に 70 名の入学定員を設定し、より高度な幼稚園教諭・保育士資格を求める受験生のニーズに応え、学生の質を落とすことなく定員を充足していくことができるものと考えられる。

2) 定員を充足する見込みがあることの根拠となる客観的なデータの概要について

(1) 愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況による見通し

① 愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況（男女）（資料 6）

平成 29 年度「愛知の教育統計」からの資料で、愛知県内の高等学校を卒業した者の過去 3 年間の大学進学者（男女）は、平成 27 年度が 33,950 人（進学率 53.8%）、平成 28 年度が 34,127 人（進学率 53.7%）、平成 29 年度が 34,813 人（進学率 53.4%）で大学進学者数は増加しているが、大学進学率は減少している。また、愛知県内の高等学校を卒業した者の過去 10 年間の大学進学率は、平成 20 年度の 51.8%から平成 29 年度の 53.4%と上昇している。

② 地元進学率の状況（資料 7）

株式会社 JS コーポレーションが発行した「ジョイントサクセス（平成 30 年 2 月）」の資料で、平成 29 年度「学校基本調査速報」のデータを基にまとめたものである。この資料で、地元進学率でみると平成 29 年度では、愛知県は全国 1 位の大学進学率（72.0%）であり、地元大学への進学意欲の高い生徒の比率が高いといえる。

（資料 6）及び（資料 7）の資料より、18 歳人口の減少による志願者数の減少が考えられるが、愛知県においては大学受験を想定される受験者層の増加傾向は今後も安定した志願者の確保ができると考えられる。

③ 愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況（女子）（資料 11-1）

平成 28 年度及び平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」からの資料で、愛知県内の高等学校を卒業した女子の過去 3 年間の大学進学者は、平成 27 年度が 16,275 名（進学率 51.2%）、平成 28 年度が 16,456 名（進学率 51.7%）、平成 29 年度が 17,055 名（進学率 52.1%）で大学進学者数と大学進学率とも増加している。（資料 6）の資料より、前述の男子と女子を合わせた大学進学率が減少しているにもかかわらず、女子の大学進学者数と大学進学率は増加傾向にある。これは、男子の四年制大学への進学率が減る一方で、女子の四年制大学への進学率及び進学者数が増加していることを意味している。この点についても、本学

が新設する四年制の女子大学である「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」は、現在の愛知県内（女子）の大学進学者数及び大学進学率の現状に合致したものと考えられる。

(2)愛知県内の高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

①愛知県内の高等学校の在籍者数の推移（男女）（資料 8）。

平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」からの資料で、愛知県内の高等学校の在籍者数は、開設 1 年目（平成 32 年度）に受験対象者となる 1 年生の生徒数 65,020 人である。

②愛知県内の中学校の在籍者数の推移（男女）（資料 9）

平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」からの資料で、愛知県内の中学校の在籍者数は、開設 2 年目（平成 33 年度）に受験対象者となる中学校 3 年生（男女）の生徒数 71,400 人、開設 3 年目（平成 34 年度）に受験対象者となる中学校 2 年生（男女）の生徒数 70,042 人、完成年度（平成 35 年度）に受験対象者となる中学校 1 年生（男女）の生徒数 69,506 人である。

③愛知県の高等学校等進学率（男女）（資料 10）

平成 30 年度「学校基本統計速報（愛知県）」からの資料で、過去 3 年間の高等学校等進学率は、平成 27 年度が 98.1%、平成 28 年度が 98.4%、平成 29 年度が 98.5%と上昇している。平成 27 年度から平成 29 年度までの過去 3 年間の平均進学率は、98.3%である。

④愛知県内の高等学校の在籍者数の推移（女子）（資料 11-3）

平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」からの資料で、愛知県内の高等学校の女子の在籍者数は、開設 1 年目（平成 32 年度）に受験対象者となる 1 年生の生徒数は 32,114 名である。

⑤愛知県内の中学校の在籍者数の推移（女子）（資料 11-4）

平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」からの資料で、愛知県内の中学校の女子の在籍者数は、開設 2 年目（平成 33 年度）に受験対象者となる中学校 3 年生の生徒数 34,759 名、開設 3 年目（平成 34 年度）に受験対象者となる中学校 2 年生の生徒数 34,260 名、完成年度（平成 35 年度）に受験対象者となる中学校 1 年生の生徒数 34,221 名である。

⑥愛知県内の中学校を卒業した者の高等学校等進学状況（女子）（資料 11-2）

平成 28 年度及び平成 29 年度「学校基本調査（愛知県）」からの資料で、愛知県内の中学校を卒業した女子の過去 3 年間の高等学校等への進学状況（女子）は、平成 27 年度は卒業生 35,899 名のうち 35,298 名（進学率 98.3%）、平成 28 年度は卒業生 35,923 名のうち 35,405 名（進学率 98.6%）、平成 29 年度は卒業生 35,013 名のうち 34,562 名（進学率 98.7%）で増加傾向にあり、中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（女子）は、過去 3 年間の平均 98.5%であり、同様に増加傾向にある。特に男子と女子を合わせた中学生の高等学校等への進学率（資料 10）と比較しても、女子のみの中学生の高等学校等への進学率の方

が高いことを勘案すると、今後、愛知県内の大学受験対象者が大きく減少することなく、中長期的な観点から確保ができると考えられる。

(3) 学生の通学に至便な立地条件

①名古屋柳城短期大学及び新設大学の立地条件（資料 12）

本学は、名古屋駅から地下鉄で 15 分ほどの通学に至便な立地にあり、他の主要駅からもアクセスが可能となっている。そのため、岐阜県（岐阜市、多治見市など）や三重県（四日市市、桑名市など）からも 1 時間以内で、名古屋市内の主要駅に着くことが可能となっている。

②愛知県内の大学への流入状況（資料 13）

株式会社 JS コーポレーションが発行した「マーケティング DM VOL. 1257（平成 29 年 11 月）」の資料で、平成 29 年度「学校基本調査速報」のデータを基にまとめたものである。この資料で、愛知県内の大学への流入状況は、岐阜県（愛知県への進学者 4,592 名：愛知県への進学率 47.22%）、三重県（愛知県への進学者 3,207 名：愛知県への進学率 38.64%）からの進学者も多く、大学進学率も他の県と比べても高くなっている。

③大学の新設に関するアンケート調査（高校 2 年生対象）（資料 14-2 設問 Q4）

本学が平成 32 年度に「名古屋柳城女子大学」を開設し、大学に「こども学部こども学科」70 名の設置とともに、名古屋柳城短期大学に保育科 130 名の併設を予定している。そのため、策定するに当たり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的とした高校生対象のアンケート調査を実施した。アンケート項目は全 13 項目で、全て選択肢とした。

<調査時期>

平成 30 年 6 月～平成 30 年 7 月

<調査対象>

平成 32 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校 2 年生（平成 32 年 3 月卒業予定者）の女子 4,745 名（名古屋柳城短期大学に関する質問事項は男子回答者 2,698 名も対象）をアンケートの対象者とした（資料 14-2 設問 R1）。

<調査方法>

アンケート実施の了承が得られた高校に、大学の新設に関するアンケート調査用紙（必要部数）（資料 14-1）を送付。そして各高校の教員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配付し、合わせてアンケート調査用紙配付時に、回答者に対する新学部新学科の内容を極力周知する観点から別紙資料（資料 15-1）も配付。アンケート記入後、その場で回収。

<実施高校>

愛知県内の高等学校 70 校（名古屋地区 29 校、尾張地区 35 校、三河地区 6 校）にアンケート用紙を送付（資料 15-2）。

Q4. R3で「1. 4年制大学」「2. 短期大学」「3. 専門学校」と答えた方にお聞きします。
あなたは「名古屋柳城女子大学（仮称）」の新設をどう思われますか。

R3×Q4 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	全体/%
1	交通至便の名古屋市内に大学ができることは、進路選択の拡がりが良いことだと思う	1,443	37.4
2	短大や専門学校に比べより高度な学修、研究などに取り組むことができるので良いと思う	568	14.7
3	社会的なニーズもあり、大学での学びは必要である	263	6.8
4	高度な専門知識と技術、研究レベルをもち、一つの分野に特化した大学で学ぶことができることは良いと思う	476	12.3
5	専門職業人を目指せることは良いと思う	986	25.6
6	その他	108	2.8
7	未回答	15	0.4
	合計	3,859	100.0

【調査結果（該当項目）】（全項目の調査結果は、資料編に記載）

名古屋柳城女子大学（仮称）の新設をどう思われるか」の質問について、「交通至便の名古屋市内に大学ができることは、進路選択の拡がりが良いことだと思う」と回答した者が選択肢の中で一番多い1,443名で、全体の37.4%を占めている。

（資料12）、（資料13）並びに（資料14-2 設問Q4）の資料より、名古屋市内に位置する「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」は、学生の通学に至便な立地にキャンパスがあり、学生のニーズに応えた大学であるといえる。また、愛知県全域をはじめ岐阜県、三重県などの隣接県からの学生の確保も可能であると考えられる。

(4) 想定される競合大学の志願者動向と定員充足状況

①愛知県内の保育・幼児教育系私立大学の入試状況（過去5年間）（資料16）

愛知県内の保育・幼児教育分野の私立大学16大学の入試状況（入学定員・志願者数・入学者数・志願倍率・定員超過率）のデータを一覧にしたものである。個々の数値は、各大学のホームページ、愛知県保育系学生就職連絡協議会及び株式会社進研アドからの入試資料による。これによると、私立大学16大学全体の志願倍率は、平成26年度から平成30年度の過去5年平均で4.13倍であり、同様に定員超過率は96%である。

②愛知県内の保育・幼児教育系私立大学の地区別の入試状況（5年間の総計）（資料17-1）

（資料16）のデータを基に、名古屋市内（7大学）、尾張地区（7大学（名古屋市を除く））、三河地区（2大学）の地区別集計を行った。この結果、名古屋市内は志願倍率が5.19倍、定員超過率は106%となり、尾張地区（志願倍率3.74倍、定員超過率91%）や三河地区（志願倍率1.82倍、定員超過率81%）よりも高くなっている。

③愛知県内の保育・幼児教育系私立の女子大学と共学大学との入試状況（5年間の総計）（資料17-2）

（資料16）のデータを基に、女子大学（5大学）、共学大学（11大学）の集計を行った。この結果、女子大学は志願倍率が4.71倍、定員超過率は102.5%となり、共学大学（志願倍率3.75倍、定員超過率91.5%）よりも高くなっている。また、名古屋地区と隣接する尾張地区の女子大学を合わせた定員超過率では、より女子大学の定員超過率が高く（106.8%）なっている

（資料16）及び（資料17-1、資料17-2）の資料より、これらの点から、「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」と同じく位置する名古屋市内の同分野の私立女子大学において安定した志願者確保と定員充足の状況を維持しており、学生が高い関心を持っている分野であるといえる。

(5) 「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」への関心度

大学設置に関するアンケート調査（高校2年生対象）（資料14-2 設問Q5）（資料14-2 設問Q6）（資料14-2 設問Q7）（資料14-2 設問Q8）（資料14-2 設問Q9）（資料14-2 設問Q1）（資料14-2 設問Q2）

Q5あなたは「保育・幼児教育」について関心はありますか

R3×Q5 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「保育・幼児教育に関心」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	全体/%
1	関心がある	873	22.6
2	どちらかといえば関心がある	853	22.1
3	どちらとも言えない	593	15.4
4	どちらかと言えば関心はない	522	13.5
5	まったく関心がない	991	25.7
6	未回答	27	0.7
	合計	3,859	100.0

【調査結果（該当項目）】（全項目の調査結果は、資料編に記載）

「関心がある」と回答した者は、873名（22.6%）、「どちらかといえば関心がある」と答えた者は、853名（22.1%）であった。2つの選択肢を合わせた数値は、全体の44.7%を占めている（資料14-2 設問Q5）。

Q6. 新たに保育・幼児教育に特化した保育士資格・幼稚園教諭1種免許の取得が可能な学部を持つ4年制大学ができるとしたら関心がありますか

R3×Q6 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	全体/%
1	関心がある	543	19.1
2	どちらかといえば関心がある	677	23.8
3	どちらとも言えない	849	29.9
4	どちらかといえば関心はない	304	10.7
5	まったく関心がない	121	4.3
6	未回答	347	12.2
	合計	2,841	100.0

「関心がある」と回答した者は、543名（19.1%）、「どちらかといえば関心がある」と答えた者は、677名（23.8%）であった。2つの選択肢を合わせた数値は、全体の42.9%を占めている（資料14-2 設問Q6）。

Q7. Q6で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものを1つ選ぶ）

R3×Q6×Q7 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「理由」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	全体/%
1	進学先・進路の選択肢が増えるから	379	31.1
2	県内の学校への進学を希望しているから	34	2.8
3	保育・幼児教育の職に就きたいから	399	32.7
4	就職に有利だから	74	6.1
5	幅広い知識や実践力が身につくから	98	8.0
6	資格・免許が取得できるから	180	14.8
7	保育者養成の実績を持つ柳城の4大だから	5	0.4
8	4年制でゆっくり学べるから	36	3.0
9	その他	8	0.7
10	未回答	7	0.6
	合計	1,220	100.0

「保育・幼児教育の職に就きたいから」と回答した者は 399 名 (32.7%) と最も多く、ついで「進学先・進路の選択肢が増えるから」が 379 名 (31.1%) であり、2つの選択肢を合わせた比率 (63.8%) は、全体の半数を超えている (資料 14-2 設問 Q7)。このことから、本学新設大学への関心を示す高校生の割合が高いと考えられる。

Q8. Q7で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。保育者養成に実績を持つ柳城が、保育士資格・幼稚園教諭1種免許を取得できる4年制大学を設置した場合、その学部・学科の受験もしくは受験を検討しますか

R3×Q6×Q8 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「受験」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	全体/%
1	受験をする	58	4.8
2	一応受験を考える	198	16.2
3	受験校の一つとして考える	355	29.1
4	受験しない	180	14.8
5	わからない	394	32.3
6	未回答	35	2.9
	合計	1,220	100.0

「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科」を「受験をする」を回答した者は 58 名 (4.8%) で、「一応受験を考える」を回答した者は 198 名 (16.2%)、「受験校の一つとして考える」を回答した者は 355 名 (29.1%) であった (資料 14-2 設問 Q8)。この「受験をする」と「一応受験を考える」、「受験校の一つとして考える」を合わせた 611 名 (50.1%) の数値は、入学定員の 8.7 倍以上である。従って、この回答をした生徒は、「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科 (入学定員 70 名)」への受験の意向が高いことの表れであり、このことから、入学定員 70 名を充足する受験生の確保は十分可能と考えている。

Q9. Q8で「1. 受験をする」「2. 一応受験を考える」「3. 受験校の一つとして考える」あなたは、保育者養成に実績を持つ柳城の4年制大学に合格した場合、進学を希望しますか。

R3×Q6×Q8×Q9 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「受験」×「進学」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	全体/%
1	進学を希望する	74	12.1
2	一応進学を考える	127	20.8
3	進学先の一つとして考える	133	21.8
4	進学を希望しない	3	0.5
5	わからない	23	3.8
6	未回答	251	41.1
	合計	611	100.0

そして、「保育者養成に実績を持つ柳城の四年制大学に合格した場合、進学を希望するのか」についての質問で、「進学を希望する」を回答した者は74名(12.1%)で、「一応進学を考える」を回答した者は127名(20.8%)、「進学先の一つとして考える」を回答した者は133名(21.8%)であった(資料14-2 設問Q9)。この「進学をする」と「一応進学を考える」、「進学先の一つとして考える」を合わせた334名(54.7%)の数値は、入学定員の4.8倍に相当する。従ってこの回答をした生徒は、「名古屋柳城女子大学」の「こども学部こども学科(入学定員70名)」への進学の意向が高いといえる。特に「進学を希望する」を回答した者(74名)で入学定員を上回っていることは、本学の新設学部新設学科に対する高い期待度の表れである。このことから、入学定員70名を充足する入学生の確保は十分可能と考えている。

Q1.R3で「2.短期大学」と答えた方にお聞きします。

名古屋柳城短期大学では、現在保育科にて保育士資格・幼稚園教諭2種免許を取得することが可能ですが、この名古屋柳城短期大学保育科に受験もしくは受験を検討しますか。

R3×Q1 「短期大学」×「受験」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	件数/人 (男子)	合計 (男女)	全体/%
1	受験をする	14	3	17	3.3
2	一応受験を考える	39	0	39	7.5
3	受験校の一つとして考える	101	4	105	20.2
4	受験しない	159	15	174	33.5
5	わからない	152	9	161	31.0
6	未回答	23	1	24	4.6
	合計	488	32	520	100.0

また、「名古屋柳城短期大学保育科(共学)に受験もしくは受験を検討するのか」についての質問で、「受験をする」を回答した者は男女17名(3.3%)で、「一応受験を考える」を回答した者は男女39名(7.5%)、「受験校の一つとして考える」を回答した者は男女105名(20.2%)であった(資料14-2 設問Q1)。この「受験をする」と「一応受験を考える」、「受験校の一つとして考える」を合わせた男女161名(31.0%)の数値を志願者数に置き換えて、入学定員(130名)で志願倍率を算出すると1.24倍となり、この志願倍率(1.24倍)は、日本私立学校振興・共済事業団「私学経営情報センター」が実施している「私立大学・短期大学等入学志願動向(教育系)」による直近の2年間、平成28年度(1.18倍)、平成29年度(1.10倍)の志願倍率を上回っている(資料4)。従って、この回答をした生徒が「名古屋柳城短期大学保育科(入学定員130名)」への受験の意向が高いことがうかがえ、このことから、入学定員130名を充足する受験生の確保は可能と考えている。

Q2. 「1. 受験をする」「2. 一応受験を考える」「3. 受験校の一つとして考える」と答えた方にお聞きします。

あなたは、この名古屋柳城短期大学保育科に合格した場合、進学を希望しますか。

R3×Q1×Q2 「短期大学」×「受験」×「進学」

No.	カテゴリ	件数/人 (女子)	件数/人 (男子)	合計 (男女)	全体/%
1	進学を希望する	39	3	42	26.1
2	一応進学を考える	34	2	36	22.4
3	進学先の一つとして考える	68	1	69	42.9
4	進学を希望しない	0	1	1	0.6
5	わからない	11	0	11	6.8
6	未回答	2	0	2	1.2
	合計	154	7	161	100.0

そして、「名古屋柳城短期大学保育科に合格した場合、進学を希望するのか」についての質問で、「進学を希望する」を回答した者は男女 42 名 (26.1%) で、「一応進学を考える」を回答した者は男女 36 名 (22.4%)、「進学先の一つとして考える」を回答した者は男女 69 名 (42.9%) であった (資料 14-2 設問 Q2)。この「進学を希望する」と「一応進学を考える」、「進学先の一つとして考える」を合わせた男女 147 名 (91.4%) の数値は、本学を「受験をする」等を回答した者 (161 名) に対する進学への意向比率 (入学予定率) は 91.3% (=147/161 名) と非常に高くなっている。従って、この回答をした生徒が「名古屋柳城短期大学保育科 (入学定員 130 名)」への進学の意向や入学定員を上回っている状況を鑑みると、入学定員 130 名を充足する入学生の確保は可能と考えている。

(6) 卒業後の就職の見通し

①名古屋柳城短期大学の就職状況 (5 年間) (資料 18)

本短期大学の平成 25 年度から平成 29 年度の過去 5 年間の就職状況を一覧にしたものであり、各年度の就職内定率は毎年 100% で非常に安定している。また、幼稚園・保育所 (園) ・認定こども園・福祉施設への就職内定率も過去 5 年間でみると 93% 以上で推移し、平成 28 年度は特に高く 98.0% の就職内定率を誇っている。さらに、本学の公立保育士及び公立幼稚園教諭は、平成 25 年度から平成 29 年度の 5 年間でみると 18 名以上採用されている。この点からも、本短期大学の保育科の保育・幼児教育の質の高い教育が評価されていることの表れであると考えられる。このことから、新設大学の学生に関しても同程度の就職内定率を確保できるものと考えている。

②高校生が将来就きたい職業/その理由 (資料 19)

一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会と (株) リクルートマーケティングパートナーズが合同で、全国の高校 2 年生とその保護者を対象に調査したものである。実施期間は、平

成 27 年 9 月から 10 月まで実施し、有効回答数高校生 1,887 人、保護者 1,584 人である。この資料から、就きたい職業ランキング（全体）では 2 位に「公務員」5 位に「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」が入っている。また、就きたい職業ランキング（女子）でも、2 位に「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」、8 位に「公務員」に入っている。このことから、近年、高校生からのニーズで、公務員志向の傾向があり、保育・幼児教育の分野でもその傾向が表れていると考えられる。

③愛知県内の保育・幼児教育系私立大学・短期大学の就職先一覧（5 年間）（資料 20）

愛知県保育系学生就職連絡協議会が、平成 25 年度から平成 29 年度までの当該年度 3 月 31 日現在の愛知県の保育・幼児教育系の大学 16 校、短期大学 12 校の就職先をまとめたものである。この資料で、公務員の就職状況を見ると、平成 25 年度は大学が幼稚園・保育園を合わせて 336 名、短期大学は同様に 257 名、平成 26 年度は大学 344 名、短期大学 286 名、平成 27 年度は大学 356 名、短期大学 287 名、平成 28 年度は大学 392 名、短期大学 322 名、平成 29 年度は大学 390 名、短期大学 295 名となっていて、常に大学の公務員採用数が短期大学の採用数を上回っている。本短期大学の公立保育士及び公立幼稚園教諭は、平成 25 年度から平成 29 年度の過去 5 年間でみると 18 名以上採用され、直近の 2 年間では各年 25 名採用されている（資料 18）。また、平成 29 年度の本短期大学の公立保育士及び公立幼稚園教諭を合わせた採用数は、愛知県内の 12 大学の中で 3 番目に位置しており、四年制大学での学修支援・実習支援を踏まえた教育プログラムを積極的に活用することにより、さらなる採用者増を目指すことができると考えられる。

④愛知県内の保育・幼児教育系私立の女子大学と共学大学との公立保育士及び公立幼稚園教諭の採用状況（5 年間）（資料 21）

（資料 20）のデータを基に、女子大学（5 大学）、共学大学（11 大学）の集計を行った。この結果、女子大学 5 校の公立保育士及び公立幼稚園教諭の合わせた採用数は、共学 11 校の採用数を全ての年度で上回っている。また、公立保育士と公立幼稚園教諭の合わせた採用比率の差も平成 25 年度から比較すると平成 29 年度では広がっている。この点について本学の新設する女子大学は、高校生のニーズ（公務員志向）に応えうる大学と考えられる。

ウ 学生納付金の設定の考え方

「こども学部こども学科」における学生納付金は、下記のとおりである。

区 分		金額（単位：円）	
入学金		240,000	
授業料（年間）		700,000	
教育 等 充 実 費	教育充実費（年間）	385,000	430,000
	実験・実習費	45,000	
初年度納付金合計		1,370,000	

上記の学生納付金の設定の考え方は、大学及び学部・学科運営に係る財務的な視点、学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、下記の愛知県内の類似した学部・学科を設置している私立女子大学の学生納付金の設定状況を勘案している。具体的には、大学管理運営上の人件費や教育研究経費、経常経費等の財務予測を念頭に設定した。

愛知県内の類似私立女子大学の学生納付金の設定状況

大学名等	納付金				
	初 年 度 納 付 金				(単位：円)
	入学金	授業料	教育充実費等	計	対象年度
桜花学園大学 保育学部保育学科	240,000	685,000	432,000	1,357,000	2017年度入学生
岡崎女子大学 子ども教育学部子ども教育学科	280,000	680,000	390,000	1,350,000	2017年度入学生
金城学院大学 人間科学部現代子ども学科	200,000	720,000	380,000	1,300,000	2018年度入学生
椙山女学園大学 教育学部子ども発達学科	200,000	760,000	412,000	1,372,000	2017年度入学生
名古屋女子大学 文学部児童教育学科	200,000	755,000	410,000	1,365,000	2018年度入学生

(各大学のホームページより抜粋)

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

下記の取組みを計画しており、本学院が一体となり組織的に学生確保に向けた広報活動を展開する。

1) 大学案内（リーフレット・パンフレット）

(1) リーフレット

・大学設置の計画を策定するに当たり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的とした、平成30年6月に高校2年生を対象に実施した「大学の新設に関するアンケート」について、①学部・学科の名称 ②開設時期と入学定員 ③設置の理念・養成する人物像 ④設置場所（アクセス） ⑤学生納付金などについて記載した「リーフレット（設置構想中）」を配付し（資料 15-1）、その内容を理解したうえで、アンケートに記載し

てもらっている（資料 14-1）。

・平成 30 年 11 月からは、「リーフレット（設置構想中）」を基に学科概要、就職など高校生に周知すべき内容を記載した「こども学部こども学科」PR 用の「リーフレット（設置認可申請中）」を作成し、高校生や高校進路指導宛等に配布し、認知向上に努める。配布対象は、本学への資料請求者（参考：平成 30 年 9 月 12 日現在では 2 年生 1,732 名、1 年生 321 名）及び東海 4 県（愛知・岐阜・三重・静岡）及び長野・北陸地区の高校進路指導宛（平成 30 年度実績：303 校）を予定している。

(2) パンフレット

・認可後は、大学の概要、施設、学生生活などを包括した正式な大学案内を作成し、学生募集要項と入試ガイド等も同時に配布し、受験生確保に努める。配布対象は、本学への資料請求者（参考：平成 29 年度末では 3 年生 3,918 名、2 年生 2,277 名、1 年生 792 名）及び東海 4 県（愛知・岐阜・三重・静岡）及び長野・北陸地区の高校進路指導宛（平成 30 年度実績：303 校）を予定している。

平成27年度～平成29年度の名古屋柳城短期大学への資料請求者数の登録状況

(名)

	高校 1 年生	高校 2 年生	高校 3 年生
平成27年度	820	2,262	3,631
平成28年度	767	2,257	3,514
平成29年度	792	2,277	3,918

※上記の数字は、各年度 3 月末時点

2) 進学情報誌等

・進学情報の提供には各種進学情報誌と外部業者サイトがあり、この 2 通りの方法で大学情報を掲載及びサイトにアップし、告知に努める。掲載時期やサイトへのアップの時期としては、平成 31 年 1 月から 3 月下旬にかけて新 3 年生を中心に進学情報を提供する予定であり、新設大学への資料請求につなげることを目的としている。また、認可後は、進学情報誌での 3 年生を対象とした進学情報を提供する予定であり、開設した大学への出願書類の請求や出願に結びつけることを目的としている。

・地元主要新聞の掲載時期は設置認可後の 9 月を予定し、掲載新聞の配布エリアとしては東海 4 県（愛知・岐阜・三重・静岡）を対象に、「名古屋柳城女子大学」の大学開設の告知に努める。

3) ホームページの活用

・設置認可申請中までは、本学院のホームページより新設予定の大学として上記リーフレットの内容を告知し、認可後は新設大学のホームページを立ち上げ、詳細な学部・学科内容や入試情報などを掲載し情報の充実を図りつつ、新設大学への資料請求につなげることを目的としている。特に、いろいろな媒体を通して接触してきた生徒に対し興味や関心とさらなる認知拡大のために、大学の情報をタイムリーに情報提供を行うために SNS（LINE

(参考：平成 30 年 9 月末の登録数 1,547 名)、ブログ等)により定期的に発信していく。ちなみに、本学ホームページへのアクセス件数は下記のとおりである。特に、アクセス件数が、平成 29 年度よりも平成 30 年度に伸びていることは、本学への関心度が高いと考えられ、新設大学の PR にも大いに期待できるものと考えられる。

名古屋柳城短期大学 ホームページ 平成29年4月～平成30年8月のアクセス総数

(件)

年	平成29年												平成30年		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
年間総アクセス数	5,953	5,564	5,257	5,808	5,381	4,856	5,034	5,025	4,149	4,330	4,013	4,853			
年	平成30年														
月	4	5	6	7	8										
年間総アクセス数	8,577	7,442	6,159	6,373	6,012										

4) 高校訪問

・生徒の進路選択に大きな影響を与えると考えられる高校訪問は、毎年既存の短大（名古屋柳城短期大学）では学生募集活動として年 1 回（6 月）に全学的（全教員と一部の職員）で行っている。また、学生募集活動の担当課である入試広報課は、年間を通じて高校訪問を実施している。訪問エリアは、地元愛知県を始め、岐阜県、三重県並びに長野県南部地域（飯田市など）を中心に行っている。

・今回の「名古屋柳城女子大学」の大学新設に伴い、全学的な高校訪問を年 2 回（6 月、9 月）に拡大し、通年では入試広報課職員が高等学校へ出向き、進路指導教員等に対して大学の情報を提供する。

・訪問エリアは、愛知県、岐阜県、三重県並びに長野県、北陸地区などに拡大して受験生の確保に努める。

・訪問予定高校数：延べ約 300 校～400 校を予定（名古屋柳城短期大学での高校訪問数の実績は、平成 29 年度延べ 292 校、平成 28 年度延べ 370 校、平成 27 年度延べ 426 校）

※状況に応じて、他の地域の訪問や訪問回数の追加を検討する。

・全学的な高校訪問実施には、訪問担当者（教職員）全員で打ち合わせを行い、訪問校の担当制の導入や訪問時の内容を共有のうえ精度の高い情報が提供できるように努める。

5) オープンキャンパス

・名古屋柳城短期大学では、例年 3 月の第 1 回を含め 11 月までに年 5 回オープンキャンパスを開催している。今回の「名古屋柳城女子大学」の大学新設に伴い、既設の名古屋柳城短期大学と同様に年 5 回（3 月・6 月・7 月・8 月・11 月）のオープンキャンパスを予定している。内容は、学校紹介や学部・学科の紹介、キャンパス内の施設見学等を通して受験生とその保護者に情報を提供する。また、既設の短期大学のオープンキャンパスで行っている、「紙芝居を楽しもう」、「造形あそび体験」、「保育実技にふれよう」など保育者の資質、技術に触れる重要な機会の催しであるので、新設大学のオープンキャンパスにも、このプログラムを入れる予定である。名古屋柳城短期大学開催のオープンキャンパスの平成 27 年度から平成 29 年度までのオープンキャンパスの参加状況（実績）では、参加者の中で名古屋柳城短期大学の入試に出願した者の割合（出願率）は、過去 3 年間とも 50%を超えている。この点を踏まえて新設大学告知のためのオープンキャンパスでは入学定員 70 名に対し、延べ参加目標数を 250 名（入学定員の 3 倍以上）に設定し、オープンキャンパスへの参加

促進に努める。

平成27年度～平成29年度の名古屋柳城短期大学オープンキャンパス参加状況と出願状況

(平成27年度高校1年生～高校3年生)

(名)

	第1回オープンキャンパス	第2回オープンキャンパス	第3回オープンキャンパス	第4回オープンキャンパス	総計
参加者数	176	235	329	138	878

(平成27年度実績：高校3年生のみ)

(名)

	第1回オープンキャンパス	第2回オープンキャンパス	第3回オープンキャンパス	第4回オープンキャンパス	総計
参加者数	169	221	192	67	649
出願者数	78	121	107	59	365
出願率	46.2%	54.8%	55.7%	88.1%	56.2%

(平成28年度高校1年生～高校3年生)

(名)

(平成28年度実績：高校3年生のみ)	第1回オープンキャンパス	第2回オープンキャンパス	第3回オープンキャンパス	第4回オープンキャンパス	第5回オープンキャンパス	総計
参加者数	86	178	175	330	111	880
参加者数	72	163	158	172	44	609
出願者数	23	83	82	99	26	313
出願率	31.9%	50.9%	51.9%	57.6%	59.1%	51.4%

(平成29年度高校1年生～高校3年生)

(名)

	第1回オープンキャンパス	第2回オープンキャンパス	第3回オープンキャンパス	第4回オープンキャンパス	第5回オープンキャンパス	総計
参加者数	73	183	200	262	90	808

(平成29年度実績：高校3年生のみ)

(名)

	第1回オープンキャンパス	第2回オープンキャンパス	第3回オープンキャンパス	第4回オープンキャンパス	第5回オープンキャンパス	総計
参加者数	68	170	170	124	41	573
出願者数	31	88	78	62	36	295
出願率	45.6%	51.8%	45.9%	50.0%	87.8%	51.5%

6) 高校生のための「保育のお仕事ホントのところ」説明会

・名古屋柳城短期大学では、年1回(9月上旬)、高校生を対象にした「保育の仕事や魅力について」の説明会を開催している。この内容は、幼稚園、保育園、認定こども園の園長と各園の現場の保育者からの協力を得ての説明会であり、参加者(高校生)の満足度も高い説明会となっている。この説明会を今回の「名古屋柳城女子大学」の大学新設に伴い、名古屋柳城短期大学と同時開催で説明会を予定し、この説明会を通して受験生に情報を提供する。

7) 高等学校内のガイダンス及び模擬講義への参加

・高校訪問予定地域(愛知県、岐阜県、三重県並びに長野県、北陸地区)にある高等学校で開催されるガイダンスに積極的に参加し、受験生に情報を提供する。名古屋柳城短期大学での平成29年度実績では、66校の高等学校内ガイダンスに参加し、高校生835名に進路ガイダンスを行っている(資料22-1)。また、本学教員が高等学校に出向く模擬講義についても同様に積極的に参加し、受験生に情報を提供する。名古屋柳城短期大学での平成29年度実績では、7校の高等学校内の模擬講義に参加し、高校生173名に講義を行っている(資料22-2)。

8) 進学相談会への参加

・高校訪問予定地域（愛知県、岐阜県、三重県並びに長野県、北陸地区）を中心に開催される業者主催の進学相談会に積極的に参加し、受験生とその保護者に情報を提供する。名古屋柳城短期大学での平成 29 年度実績では、52 地区の進学相談会に参加し、293 名の高校生に進路相談を行っている（資料 22-3）。

9) オープンキャンパス来場者及び資料請求者へのフォロー

・オープンキャンパス来場者及び資料請求者に対し、次回のオープンキャンパスへの案内、大学新設に関わる DM（新設情報、認可後の入試情報など）を通じて、本学を受験校としてもらえるように随時フォローを行う。また、高等学校に対しては、オープンキャンパス来場者及び資料請求者の情報を共有し、進路指導現場に混乱のないように進めるとともに新設大学の状況も的確に伝えていく。

2. 人材需要の動向等社会の要請

1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

(1) こども学部こども学科の保育者養成に関する目的

今日、就学前の教育や保育への社会のニーズが多様化・複雑化し、保育者の役割は子どもを安全に預かるだけではなく、教育的な技能や保護者への支援、「発達障がい」などの特別支援の能力も重要になってきた。保育者には、乳幼児期から児童期・青年期を見通した人間の発達への深い理解にもとづく高度な専門性と、幅広い社会的視野が求められている。

また、現在、保育者に求められているのは、単に専門性の向上だけではないと考えられる。かけがえのないいのちを預かる者としての使命感と包容力のある暖かい人間性が重要であり、一人ひとりの子どもの心を受け止める柔軟性や自ら保育を開発して行くことのできる創造力も必要である。そのためには、保育者の養成は、豊かな精神性を持ち自ら成長し続ける人間の育成でなければならない。そして、そのことを念頭に入れて準備された教養教育が必要であり、それが専門教育と有効に結びつけられた教育課程が必要である。

以上の理由により、本学院としては、現在の社会が求める保育者養成の在り方に対応するため、これまでの伝統と実績の上に新たな視点から保育者養成の教育課程を編成し、四年制での保育者養成に取り組みたいと考える。

2) こども学部こども学科の教育研究上の特色

設置の趣旨をふまえ、こども学部こども学科のカリキュラムは、子どもに出会うために豊かな人間性や倫理観を培い、保育の知識や技能を磨く「子どもを学ぶ」、保育の日常に身を置き、保育者の専門性を実践から学ぶ「子どもに学ぶ」、これらの学びを仲間との対話より切磋琢磨しながら修得する「ともに学ぶ」で成り立っている。

そのために、本学独自の科目として、1年次から3年次の3年間の「子ども学フィールドワークⅠ」、「子ども学フィールドワークⅡ」、「子ども学フィールドワークⅢ」、4年次の「子ども学研究ゼミナール」を導入し、入学1年目から4年間、保育の日常で子どもと触れ合う体験を重ね、そしてその体験をもとに振り返る時間を十分に確保することを可能にする

プログラム、「子どもを学び、子どもに学び、ともに学ぶ」という学びの循環が、本学こども学部こども学科の特色である。

(2) 上記 (1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1) 社会的、地域的な人材需要の見通し

各種統計調査から社会的、地域的な人材需要の見通しを考察する。

この点においては、株式会社日本総合研究所調査部池本美香氏が自治体戦略 2040 年構想研究会において、平成 29 年 10 月 31 日に発表している「2040 年までの保育ニーズの将来展望と対応の在り方」から、その見通しを考察する。(一部抜粋して、参考資料とした) それは、今後の保育ニーズの動向によっては、現在は不足している保育者の人材需要の見通しが不透明になると考えるからである。

その中で 2040 年までの保育所・幼稚園ニーズの試算がなされている**(資料 23-1)**。それによると 2014 年～2040 年の 5 歳未満人口の減少率が最も小さい例として、愛知県がピックアップされている**(資料 23-3)**。そのうえで、今後の出生率、就業率が中位(標準)の場合の保育ニーズは、2015 年を基準(23.8 万人)とすると 2025 年には 1.2 万人減少(22.6 万人)するが、その後は横ばいか微増でニーズに大きな変化はないと試算されている。一方で、出生率、就業率が高位(高め)に推移した場合は 2015 年を基準とすると 2020 年に 3.5 万人増加(27.3 万人)、その後も増加して 2040 年には 5.6 万人増加(29.4 万人)になると試算されている。他に待機児童数が最も多い例でピックアップされている東京都**(資料 23-2)**や 2014 年～2040 年の 5 歳未満人口の減少率が最も大きい例でピックアップされている青森県**(資料 23-4)**と比較すると、愛知県は最も安定したニーズ試算が予想されている。したがって、愛知県における保育者の人材需要も全国で最も安定していると考えられ、保育者養成に特化した名古屋柳城女子大学(仮称)開学の役割は大きなものになると期待できる。

また、当研究所調査部池本美香氏によれば保育ニーズの減少時代の到来を機に、保育を量・質ともに充実させ、高出生率、高就業率を目指すべきと結論づけている。このことから、前述の(1)人材の養成に関する目的その他の教育研究活動上の目的1)こども学部こども学科の保育者養成に関する目的、2)こども学部こども学科の教育研究上の特色で示した名古屋柳城女子大学(仮称)が目指す教育内容を修得した質の高い学生の人材需要は、更に高まると考える。

2) 名古屋柳城短期大学における就職実績及び求人数

本学は今年平成 30 年に創立 120 周年を迎える。卒業生は約 9,000 名(8,965 名)にのぼり、創立以来保育者養成で地元愛知県をはじめとする東海 3 県を中心に、幼稚園、保育所(園)、認定こども園に質の高い保育人材を多数排出してきた実績を持つ。本学の特筆すべきは、保育・幼児教育等専門職への就職率が例年約 95%を保っており、最近 5 年間の就職実績においては、平均で 96.3%となっている。**(資料 18)**このように保育・幼児教育等専門職に就く割合が、近隣の保育系大学、短期大学と比較しても高い数字となっている。**(資料 24)**このことが保育事業所にも認知されていることから、私立幼稚園、私立保育所(園)、私立認定こども園からの求人園数は年々増加し、平成 29 年度は 5 年前の 775 園から約 51%増加の 1,170 園にのぼっている。**(資料 25)**単純な計算ではあるが、学生一人につき 5 園以上の求人があることになる。このことは、本学が長きに渡り保育事業者の期待に応え、信

頼できる人材を多く排出してきた証でもあると考える。

名古屋柳城女子大学（仮称）においても、全学生が更に質の高い保育を実践できる保育者を養成する四年制大学となることを目標とする。

3) 採用意向アンケート調査について

平成30年6月に「名古屋柳城女子大学（仮称）」設置に関する事業者向け採用意向アンケート調査を実施した。調査は例年求人票様式を送付している愛知県を中心とした岐阜、三重の東海3県の私立幼稚園、私立保育園（所）、私立認定こども園、児童養護・障がい者施設等を運営する856か所を対象とした。アンケート調査票（資料26-1）並びに、回答者に対する新学部新学科の内容を極力周知する観点から別紙資料（資料15-1）も郵送し、同封した返信用封筒にて回収する方法で実施した。アンケートの回答は、全体の16.7%にあたる143ヶ所から得ることができた。

調査結果（資料26-2）のうち、はじめに保育事業者がどんな人材を求めているかを以下、問7の結果から考察する。

問7 採用の際、求める能力の中で大切にすることを次の中から3つ選んでください。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	保育者としての資質・人間性	113	27.1
2	保育者に必要な知識	10	2.4
3	保育者に必要な技術	15	3.6
4	保育者としての意識・姿勢	69	16.6
5	マナー・礼儀作法、コミュニケーション能力	84	20.1
6	心身の健康	65	15.6
7	働く姿勢	56	13.4
8	その他	5	1.2
	合計	417	100.0

最も多かった回答は「保育者としての資質・人間性」で全体の27.1%、次に「マナー・礼儀作法・コミュニケーション能力」20.1%、「保育者としての意識・姿勢」16.6%、そして「心身の健康」15.6%と続いている。

名古屋柳城女子大学（仮称）において育成する人間像を以下のとおりとしている。

- ・ 相手を思いやることのできる人間性と共感力を兼ね備えた教養豊かな人間
- ・ 専門的職業人として成長を続けることのできる高い使命感と倫理観をもった人間
- ・ 知的探究心と実践力を持ち、人びとと豊かな関係を築いていくことのできる人間

また、設置を予定している「こども学部・こども学科」では、保育・幼児教育の専門的職業人を養成する学部・学科であるため、育成する人間像を以下のとおりとしている。

- ・ 世界市民としての教養と広い視野を有し、いのちを育む保育者の役割を理解することのできる豊かな資質をもった人間
- ・ 子どもの多様な個性や思いを汲み取り応える力を備え、子どもの表現を引き出す力を有したしなやかな感性と高い専門性をもった人間
- ・ 保育を自ら創造することのできる高度な実践力を有した人間

これらの人間像は、保育事業者対象アンケートによる、求める人材の上位にある項目に共通する事項であると考えられる。

次に名古屋柳城女子大学(仮称)が育成を目指す人間像を得た卒業生の採用意向(問8)と採用人数(問9)を確認することを目的に設問した結果は下表に示したとおりとなった。

問8. 名古屋柳城女子大学(仮称)の卒業生の採用を考えますか

	カテゴリ	件数/園(所)	全体/%
1	採用したい	88	61.5
2	採用を検討する	49	34.3
3	採用は考えない	2	1.4
	未回答・不明	4	2.8
	合計	143	100.0

問9. 採用する場合、何人程度採用を考えますか

	カテゴリ	件数/園(所)	全体/%
1	1人	54	37.7
2	2人	47	32.9
3	3人以上	22	15.4
	未回答・不明	20	14.0
	合計	143	100.0

その結果 88 か所(全体の 61.5%)の保育事業者が「採用したい」と回答し、「採用を検討したい」と回答した保育事業者 49 か所(全体の 34.3%)を含めれば、実に 143 か所全体の 95.5%の保育事業者が名古屋柳城女子大学(仮称)の学生採用に大変前向きであると考えられる。

採用人数についても、1名が 54 か所、2名が 47 か所、3名以上も 22 か所に上った。

仮に 3名以上の保育事業所を 3名としても、総合計すると 214 名分の採用が期待できる結果となり、定員 70 名を大きく上回る数字(3.06 倍)となった。

このことは保育事業者の求める保育者としての人間像が、名古屋柳城女子大学(仮称)の掲げる建学の精神と育成する人間像、保育・幼児教育の専門的職業人を養成する「こども学部・こども学科」の育成する人間像が合致していることからの期待の表れと言える。改めて設置を検討している名古屋柳城女子大学(仮称)は保育事業者が真に求める質の高い保育者を養成し、安定的に輩出しなければならない使命を強く感じている。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料編）

目 次

- 資料 1：名古屋柳城短期大学保育科 志願者数等の推移（5 年間）
- 資料 2：私立大学・短期大学志願者数の推移（全体：5 年間）
- 資料 3：名古屋柳城短期大学 保育科の入学定員を 130 名に設定した場合（5 年間）
- 資料 4：私立大学・短期大学志願者数等の推移（教育系：5 年間）
- 資料 5：待機児童解消に向けた取組
- 資料 6：愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況（男女）
- 資料 7：地元進学率の状況
- 資料 8：愛知県内の高等学校の在籍者数の推移（男女）
- 資料 9：愛知県内の中学校の在籍者数の推移（男女）
- 資料 10：愛知県の高等学校等進学率（男女）
- 資料 11：愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況（女子）[資料 11-1]
愛知県内の中学校を卒業した者の高等学校等進学状況（女子）[資料 11-2]
愛知県内の高等学校の在籍者数の推移（女子）[資料 11-3]
愛知県内の中学校の在籍者数の推移（女子）[資料 11-4]
- 資料 12：名古屋柳城短期大学及び新設大学の立地条件
- 資料 13：愛知県内の大学への流入状況
- 資料 14-1：大学の新設に関するアンケート調査用紙（高校 2 年生対象）
- 資料 14-2：大学の新設に関するアンケート調査（高校 2 年生対象）（集計結果）
- 資料 15-1：名古屋柳城女子大学こども学部こども学科（仮称）設置構想中（リーフレット）
- 資料 15-2：大学の新設に関するアンケート調査協力先一覧

資料 16 : 愛知県内の保育・幼児教育系私立大学の入試状況 (5年間)

資料 17 : 愛知県内の保育・幼児教育系私立大学の地区別の入試状況 (5年間の総計) [資料 17-1]
愛知県内の保育・幼児教育系私立の女子大学と共学大学との入試状況 (5年間の総計)
[資料 17-2]

資料 18 : 名古屋柳城短期大学の就職状況 (5年間)

資料 19 : 高校生が将来就きたい／その理由

資料 20 : 愛知県内の保育・幼児教育系私立大学・短期大学の就職先一覧 (5年間)

資料 21 : 愛知県内の保育・幼児教育系私立の女子大学と共学大学との公立保育士及び公立幼稚園教諭の採用状況 (5年間)

資料 22 : 高等学校内ガイダンス (平成 29 年度実績) [資料 22-1]
高等学校内模擬講義 (平成 29 年度実績) [資料 22-2]
進学相談会 (平成 29 年度実績) [資料 22-3]

資料 23 : 2040 年までの保育ニーズの将来展望と対応の在り方 [資料 23-1]
東京都の保育所・幼稚園ニーズ [資料 23-2]
愛知県の保育所・幼稚園のニーズ [23-3]
青森県の保育所・幼稚園のニーズ [23-4]

資料 24 : 愛知県内の保育・幼児教育系私立大学・短期大学の保育・幼児教育等専門職への就職者数及び就職率一覧 (5年間)

資料 25 : 名古屋柳城短期大学への私立園よりの年度別求人園数状況

資料 26-1 : 大学の新設に関するアンケート調査用紙 (保育事業所対象)

資料 26-2 : 採用意向アンケート調査 (集計結果)

名古屋柳城短期大学保育科 志願者数等の推移(5年間)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年平均
入学定員(名)	200	200	200	200	200	200
志願者数(名)	334(5)	271(4)	322(3)	259(6)	223(4)	282
受験者数(名)	319(5)	263(4)	303(3)	250(6)	218(4)	271
合格者数(名)	261(3)	212(3)	292(2)	241(5)	210(4)	243
入学者数(名)	204(1)	150(3)	211(2)	176(4)	166(3)	181
志願倍率(倍)※1	1.67	1.36	1.61	1.30	1.12	1.41
定員超過率(%)	102	75	106	88	83	91

※1. 志願倍率＝志願者数÷入学定員で算出

※2. ()内の数字は、男子で内数

(注)本資料は、AO入試、推薦入試、一般入試、特別選抜等全ての入試制度の結果を集計したものである。

(資料 1)

(表 2)

私立大学・短期大学志願者数等の推移(全体:5年間)

年度	大学			短期大学			大学志願者数 / 短大志願者数
	(A)入学定員(名)	(B)志願者数(名)	(B)/(A)志願倍率(倍)	(a)入学定員(名)	(b)志願者数(名)	(b)/(a)志願倍率(倍)	
平成26年度	460,251	3,464,428	7.53	64,664	93,377	1.44	37.1倍
平成27年度	463,697	3,513,499	7.58	62,464	89,349	1.43	39.3倍
平成28年度	467,494	3,629,273	7.76	61,251	83,116	1.36	43.7倍
平成29年度	477,667	3,882,573	8.13	59,116	78,339	1.33	50.0倍
平成30年度	484,986	4,158,495	8.57	58,161	75,629	1.30	55.0倍
5年平均	470,819	3,729,654	7.92	61,131	83,962	1.37	

(出典:日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター 平成30年度 私立大学・短期大学等入学志願動向より)

名古屋柳城短期大学 保育科の入学定員を130名に設定した場合(5年間)

年度	(A)入学定員(名)	(B)志願者数(名)	(C)入学者数(名)	(B)/(A)志願倍率(倍)	(C)/(A)定員超過率(%)
平成26年度	130	334(5)	204(1)	2.57	157
平成27年度	130	271(4)	150(3)	2.08	115
平成28年度	130	322(3)	211(2)	2.48	162
平成29年度	130	259(6)	176(4)	1.99	135
平成30年度	130	223(4)	170(3)	1.72	131
5年平均	130	282	182	2.17	140

(注1)本資料は、資料1の数字を基にして作成

(注2)()内の数字は、男子で内数

(資料 3)

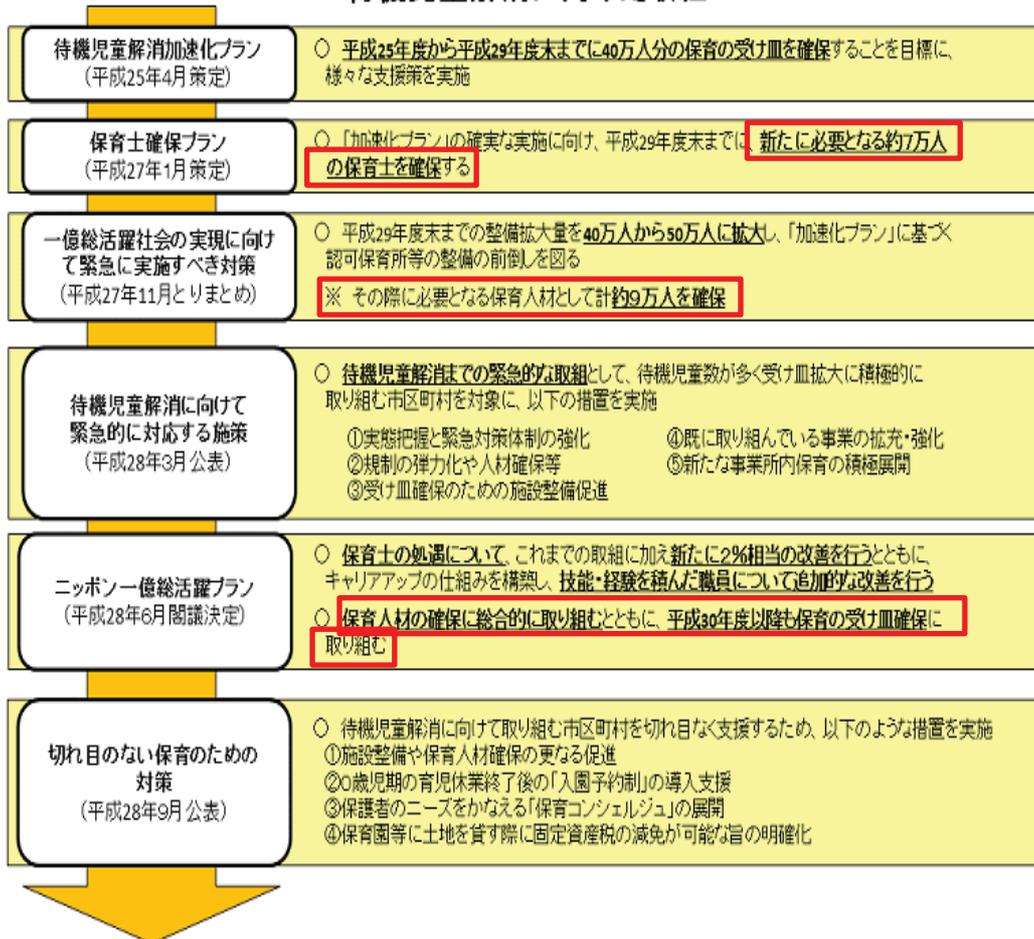
(表 4)

私立大学・短期大学志願者数等の推移(教育系:5年間)

年度	大学				短期大学					大学志願者数 短大志願者数	
	(A)入学定員(名)	(B)志願者数(名)	(C)入学者数(名)	(B)/(A)志願倍率(倍)	(C)/(A)定員超過率(%)	(a)入学定員(名)	(b)志願者数(名)	(C)入学者数(名)	(b)/(a)志願倍率(倍)	(c)/(a)定員超過率(%)	
平成26年度	14,620	105,075	15,631	7.19	106.92	23,570	34,951	23,451	1.48	99.5	3.01倍
平成27年度	15,378	104,551	16,354	6.80	106.35	23,400	33,286	23,077	1.42	98.62	3.14倍
平成28年度	15,891	105,310	16,276	6.63	102.42	23,591	30,470	21,806	1.29	92.43	3.46倍
平成29年度	15,893	104,972	16,294	6.60	102.52	23,356	27,578	20,847	1.18	89.26	3.81倍
平成30年度	16,678	108,370	16,722	6.50	100.26	23,226	25,551	19,602	1.10	84.40	4.24倍
5年平均	15,692	105,656	16,255	6.73	103.6	23,429	30,367	21,757	1.30	92.9	

(出典:日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター 平成30年度 私立大学・短期大学等入学志願動向より)

待機児童解消に向けた取組



- 平成 29 年度予算においても、子ども・子育て支援のための予算として 1 兆 1,358 億円を計上しています。また、消費税率引き上げによる増収分のうち、国分 2,985 億円は子ども・子育て支援新制度の実施に当てます。これらを使って①保育の受け皿を増やす、②保育を多様化する、③保育人材を確保する、の 3 つの施策を引き続き進めています。

(出典：「待機児童対策～これからも、安心して子育てできる環境作りに取り組めます！～」平成 29 (2017) 年 6 月 内閣官房内閣広報室 HP より)

(資料6)

愛知県内の高等学校を卒業した者の大学進学状況（男女）

推移

20 進路別 高等学校卒業生数の推移

区分	卒業生総数	進学者(A)				専修学校(専門課程)進学者(B)	専修学校(一般課程)等	
		計	大学学部	短期大学本科	その他		計	専修学校(一般課程)
平成14.3卒	69,060	35,880 (35,877)	30,113	5,639	128 (125)	10,210	5,920	205
15	67,154	34,383 (34,362)	28,862	5,387	134 (113)	11,036	5,714	221
16	65,353	33,924 (33,910)	28,702	5,109	113 (99)	10,768	5,094	198
17	64,020	34,659 (34,642)	29,669	4,869	121 (104)	9,866	4,319	271
18	63,715	35,463 (35,430)	30,571	4,757	135 (102)	9,165	3,783	199
19	62,399	36,018 (36,007)	31,646	4,264	108 (97)	8,184	3,447	72
20	59,606	34,835 (34,821)	30,854	3,866	115 (101)	6,703	3,355	240
21	59,097	34,833 (34,826)	31,170	3,563	100 (93)	6,442	3,465	217
22	59,261	35,576 (35,567)	31,824	3,642	110 (101)	6,969	3,652	439
23	60,168	35,464 (35,445)	31,849	3,495	120 (101)	7,401	3,935	481
24	60,584	35,471 (35,462)	31,980	3,383	108 (99)	7,764	3,839	403
25	62,695	36,553 (36,542)	33,130	3,313	110 (99)	8,119	4,006	642
26	61,326	35,861 (35,848)	32,598	3,144	119 (106)	8,171	3,260	405
27	63,156	37,139 (37,126)	33,950	3,085	104 (91)	8,273	3,480	546
28	63,579	37,350 (37,340)	34,127	3,064	159 (149)	8,195	3,452	605
29	65,204	37,728 (37,715)	34,813	2,733	182 (169)	8,212	4,033	667
平成14.3卒	100.0	52.0 (52.0)	43.6	8.2	0.2 (0.2)	14.8	8.6	0.3
15	100.0	51.2 (51.2)	43.0	8.0	0.2 (0.2)	16.4	8.5	0.3
16	100.0	51.9 (51.9)	43.9	7.8	0.2 (0.2)	16.5	7.8	0.3
17	100.0	54.1 (54.1)	46.3	7.6	0.2 (0.2)	15.4	6.7	0.4
18	100.0	55.7 (55.6)	48.0	7.5	0.2 (0.2)	14.4	5.9	0.3
19	100.0	57.7 (57.7)	50.7	6.8	0.2 (0.2)	13.1	5.5	0.1
20	100.0	58.4 (58.4)	51.8	6.5	0.2 (0.2)	11.2	5.6	0.4
21	100.0	58.9 (58.9)	52.7	6.0	0.2 (0.2)	10.9	5.9	0.4
22	100.0	60.0 (60.0)	53.7	6.1	0.2 (0.2)	11.8	6.2	0.7
23	100.0	58.9 (58.9)	52.9	5.8	0.2 (0.2)	12.3	6.5	0.8
24	100.0	58.5 (58.5)	52.8	5.6	0.2 (0.2)	12.8	6.3	0.7
25	100.0	58.3 (58.3)	52.8	5.3	0.2 (0.2)	12.9	6.4	1.0
26	100.0	58.5 (58.5)	53.2	5.1	0.2 (0.2)	13.3	5.3	0.7
27	100.0	58.8 (58.8)	53.8	4.9	0.2 (0.1)	13.1	5.5	0.9
28	100.0	58.7 (58.7)	53.7	4.8	0.3 (0.2)	12.9	5.4	1.0
29	100.0	57.9 (57.8)	53.4	4.2	0.3 (0.3)	12.6	6.2	1.0

(注) 1 「進学者計」の()内は、大学・短期大学の通信教育部への進学者を除いた進学者数及び進学率である。
 2 「進学者」の「その他」とは、大学・短期大学の通信教育部及び別科、高等学校の専攻科、特別支援学校高等部専攻科をいう。
 3 「就職者」には、(A)・(B)・(C)及び(D)のうち就職している者を含まない。
 4 「就職者」の()内は、学校基本調査でいう卒業者に占める就職者の割合であり、算式は次のとおりである。

$$\text{卒業者に占める就職者の割合} = \frac{\text{就職者} + (A) \cdot (B) \cdot (C) \text{ 及び } (D) \text{ のうち就職している者}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

 5 比率は、卒業生総数に対するものである。

(出典：平成29年度 愛知の教育統計より 平成29年5月1日現在)

地元進学率の状況

地元進学率：同じ都道府県の大学・短大へ進学した割合

2017年に大学・短期大学に入学した人（浪人含む）のうち、出身高校と同じ都道府県の大学・短期大学に入学した割合です。

■ 大学への進学

	大学進学者数	同じ都道府県への 大学進学者数	地元進学率
北海道	20,912	14,053	67.2%
青森	5,056	1,948	38.5%
岩手	4,735	1,359	28.7%
宮城	10,132	5,888	58.1%
秋田	3,592	864	24.1%
山形	4,240	888	20.9%
福島	7,785	1,577	20.3%
茨城	14,793	2,963	20.0%
栃木	9,085	2,110	23.2%
群馬	9,139	2,634	28.8%
埼玉	34,587	10,419	30.1%
千葉	29,574	9,787	33.1%
東京	77,103	50,871	66.0%
神奈川	43,758	17,758	40.6%
新潟	9,169	3,261	35.6%
富山	4,559	933	20.5%
石川	5,658	2,529	44.7%
福井	4,092	1,283	31.4%
山梨	5,041	1,304	25.9%
長野	8,980	1,448	16.1%
岐阜	9,725	1,919	19.7%
静岡	17,323	4,902	28.3%
愛知	38,905	27,993	72.0%
三重	8,299	1,704	20.5%
滋賀	7,182	1,530	21.3%
京都	15,884	7,994	50.3%
大阪	47,347	27,029	57.1%
兵庫	30,147	13,790	45.7%
奈良	8,016	1,194	14.9%
和歌山	4,324	492	11.4%
鳥取	2,115	316	14.9%
島根	2,650	391	14.8%
岡山	9,188	4,051	44.1%
広島	14,989	7,815	52.1%
山口	5,069	1,192	23.5%
徳島	3,318	1,263	38.1%
香川	4,733	845	17.9%
愛媛	6,373	2,095	32.9%
高知	2,685	544	20.3%
福岡	23,158	15,163	65.5%
佐賀	3,566	542	15.2%
長崎	5,471	1,857	33.9%
熊本	7,453	3,348	44.9%
大分	4,029	997	24.7%
宮崎	4,267	1,112	26.1%
鹿児島	6,184	2,080	33.6%
沖縄	6,304	3,427	54.4%

■ 短期大学への進学

	短大進学者数	同じ都道府県への 短大進学者数	地元進学率
北海道	2,514	2,243	89.2%
青森	744	490	65.9%
岩手	566	343	60.6%
宮城	832	681	81.9%
秋田	601	326	54.2%
山形	636	394	61.9%
福島	1,067	751	70.4%
茨城	941	430	45.7%
栃木	866	598	69.1%
群馬	960	749	78.0%
埼玉	2,674	1,198	44.8%
千葉	1,963	1,143	58.2%
東京	2,649	1,868	70.5%
神奈川	2,827	2,059	72.8%
新潟	955	646	67.6%
富山	670	436	65.1%
石川	789	680	86.2%
福井	435	270	62.1%
山梨	463	319	68.9%
長野	1,855	1,347	72.6%
岐阜	1,431	1,067	74.6%
静岡	1,468	896	61.0%
愛知	2,869	2,525	88.0%
三重	900	505	56.1%
滋賀	835	394	47.2%
京都	1,326	868	65.5%
大阪	4,672	3,555	76.1%
兵庫	2,389	1,838	76.9%
奈良	756	282	37.3%
和歌山	557	204	36.6%
鳥取	394	221	56.1%
島根	450	161	35.8%
岡山	783	649	82.9%
広島	1,040	681	65.5%
山口	660	381	57.7%
徳島	350	275	78.6%
香川	498	345	69.3%
愛媛	777	577	74.3%
高知	398	296	74.4%
福岡	2,469	2,276	92.2%
佐賀	475	300	63.2%
長崎	659	380	57.7%
熊本	610	331	54.3%
大分	860	642	74.7%
宮崎	636	357	56.1%
鹿児島	1,278	986	77.2%
沖縄	638	449	70.4%

調査時期：平成29年5月1日現在
データ資料：文部科学省「学校基本調査速報」（平成29年8月発行）より表にして作成

（出典：ジョイントサクセス：平成 30（2018年2月株式会社 JS コーポレーション発行抜粋）

(資料 8)

愛知県内の高等学校の在籍者数の推移 (男女)

第22表 課程別、学年別生徒数 (高等学校)
(2シートに分かれて掲載されています)

単位:人

区分	生徒数			本 科 (全 日 制)												区分
				計			1 学 年			2 学 年			3 学 年			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
平成28年度	201,322	100,623	100,699	195,407	97,195	98,212	66,028	32,854	33,174	64,992	32,425	32,567	64,387	31,916	32,471	平成28年度
29	199,697	100,470	99,227	193,735	96,998	96,737	65,020	32,906	32,114	64,981	32,229	32,752	63,734	31,863	31,871	29
国 立	951	381	570	951	381	570	320	135	185	318	122	196	313	124	189	国 立
名古屋市	354	162	192	354	162	192	120	58	62	118	54	64	116	50	66	名古屋市
刈谷市	597	219	378	597	219	378	200	77	123	200	68	132	197	74	123	刈谷市
公 立	137,523	69,455	68,068	131,786	66,005	65,781	44,162	22,407	21,755	44,056	21,764	22,292	43,568	21,834	21,734	公 立
名古屋市	32,840	15,335	17,505	31,043	14,228	16,815	10,363	4,755	5,608	10,421	4,744	5,677	10,259	4,729	5,530	名古屋市
豊橋市	6,937	3,549	3,388	6,116	2,996	3,120	2,037	1,002	1,035	2,029	950	1,079	2,050	1,044	1,006	豊橋市
岡崎市	6,902	3,564	3,338	6,706	3,412	3,294	2,233	1,106	1,127	2,264	1,152	1,112	2,209	1,154	1,055	岡崎市
一宮市	8,700	4,641	4,059	8,283	4,395	3,888	2,745	1,476	1,269	2,801	1,469	1,332	2,737	1,450	1,287	一宮市
瀬戸市	3,144	1,551	1,593	3,048	1,495	1,553	1,040	537	503	990	468	522	1,018	490	528	瀬戸市
半田市	4,039	2,202	1,837	3,861	2,103	1,758	1,309	716	593	1,305	694	611	1,247	693	554	半田市
春日井市	6,373	3,445	2,928	6,283	3,378	2,905	2,101	1,132	969	2,084	1,114	970	2,098	1,132	966	春日井市
豊川市	3,354	1,835	1,519	3,279	1,831	1,448	1,089	622	467	1,057	565	492	1,133	644	489	豊川市
津島市	2,714	1,343	1,371	2,622	1,288	1,334	882	438	444	868	415	453	872	435	437	津島市
碧南市	1,726	970	756	1,635	911	724	561	324	237	555	301	254	519	286	233	碧南市
刈谷市	3,953	2,391	1,562	3,250	2,039	1,211	1,087	668	419	1,080	679	401	1,083	692	391	刈谷市
豊田市	9,096	4,919	4,177	8,924	4,794	4,130	2,975	1,635	1,340	2,961	1,577	1,384	2,988	1,582	1,406	豊田市
安城市	3,952	1,795	2,157	3,860	1,732	2,128	1,283	604	679	1,286	561	725	1,291	567	724	安城市
西尾市	4,237	2,099	2,138	4,129	2,024	2,105	1,402	720	682	1,381	670	711	1,346	634	712	西尾市
蒲郡市	2,006	971	1,035	1,875	880	995	622	314	308	632	288	344	621	278	343	蒲郡市
犬山市	1,618	693	925	1,511	636	875	520	219	301	501	226	275	490	191	299	犬山市
常滑市	943	521	422	943	521	422	320	164	156	313	179	134	310	178	132	常滑市
江南市	2,799	1,068	1,731	2,699	1,005	1,694	878	343	535	918	328	590	903	334	569	江南市
小牧市	2,620	1,718	902	2,483	1,645	838	842	574	268	838	543	295	803	528	275	小牧市
稲沢市	1,770	767	1,003	1,770	767	1,003	589	269	320	600	257	343	581	241	340	稲沢市
新城市	1,045	548	497	1,045	548	497	351	175	176	344	203	141	350	170	180	新城市
東海市	2,930	1,380	1,550	2,801	1,309	1,492	961	468	493	933	439	494	907	402	505	東海市
大府市	2,080	850	1,230	1,875	768	1,107	632	264	368	627	264	363	616	240	376	大府市
知多市	830	377	453	830	377	453	280	126	154	278	126	152	272	125	147	知多市
知立市	2,022	918	1,104	2,022	918	1,104	684	285	399	671	321	350	667	312	355	知立市
尾張旭市	1,196	600	596	1,196	600	596	400	211	189	396	196	200	400	193	207	尾張旭市
高浜市	694	297	397	694	297	397	239	124	115	234	100	134	221	73	148	高浜市
岩倉市	712	202	510	712	202	510	240	65	175	238	74	164	234	63	171	岩倉市
豊明市	829	478	351	829	478	351	280	161	119	273	155	118	276	162	114	豊明市
日進市	1,291	737	554	1,291	737	554	461	274	187	403	212	191	427	251	176	日進市
田原市	1,541	776	765	1,541	776	765	510	266	244	529	264	265	502	246	256	田原市
愛西市	1,193	720	473	1,193	720	473	398	243	155	390	234	156	405	243	162	愛西市
清須市	953	556	397	953	556	397	320	206	114	318	172	146	315	178	137	清須市
北名古屋市	1,077	546	531	1,077	546	531	360	177	183	359	176	183	358	193	165	北名古屋市

(出典:平成29年度 学校基本調査(愛知県)より 平成29年5月1日現在)

愛知県内の中学校の在籍者数の推移（男女）

第19表 学年別生徒数（中学校）

区 分	計			1 学 年			2 学 年			3 学 年			外国人 生徒数 (再掲)
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
平成28年度	213,816	109,899	103,917	69,965	35,748	34,217	71,265	36,542	34,723	72,586	37,609	34,977	3,211
29	210,948	107,708	103,240	69,506	35,285	34,221	70,042	35,782	34,260	71,400	36,641	34,759	3,502
国 立	1,234	612	622	411	216	195	410	192	218	413	204	209	-
名古屋市	755	355	400	251	120	131	251	112	139	253	123	130	-
千種区	240	120	120	80	40	40	80	40	40	80	40	40	-
東区	515	235	280	171	80	91	171	72	99	173	83	90	-
岡崎市	479	257	222	160	96	64	159	80	79	160	81	79	-
公 立	199,972	102,634	97,338	65,890	33,592	32,298	66,400	34,129	32,271	67,682	34,913	32,769	3,419
名古屋市	50,044	25,830	24,214	16,648	8,551	8,097	16,515	8,551	7,964	16,881	8,728	8,153	809
千種区	3,139	1,664	1,475	1,051	567	484	999	515	484	1,089	582	507	55
東区	1,135	602	533	348	195	153	407	209	198	380	198	182	23
北区	3,376	1,717	1,659	1,161	610	551	1,076	538	538	1,139	569	570	59
西区	3,113	1,595	1,518	1,010	513	497	1,029	538	491	1,074	544	530	23
中村区	2,205	1,154	1,051	736	387	349	718	377	341	751	390	361	29
中区	788	405	383	252	130	122	252	132	120	284	143	141	57
昭和区	1,728	882	846	578	265	313	569	294	275	581	323	258	20
瑞穂区	2,046	1,055	991	694	361	333	658	343	315	694	351	343	16
熱田区	1,203	613	590	398	198	200	402	208	194	403	207	196	20
中川区	5,391	2,839	2,552	1,804	945	859	1,787	965	822	1,800	929	871	71
港区	3,750	1,907	1,843	1,262	628	634	1,228	628	600	1,260	651	609	154
南区	2,850	1,444	1,406	954	449	505	927	488	439	969	507	462	83
守山区	4,646	2,392	2,254	1,621	813	808	1,524	792	732	1,501	787	714	55
緑区	7,164	3,685	3,479	2,375	1,259	1,116	2,422	1,217	1,205	2,367	1,209	1,158	83
名東区	3,770	1,954	1,816	1,237	636	601	1,265	662	603	1,268	656	612	32
天白区	3,740	1,922	1,818	1,167	595	572	1,252	645	607	1,321	682	639	29
豊橋市	10,801	5,524	5,277	3,548	1,822	1,726	3,593	1,821	1,772	3,660	1,881	1,779	430
岡崎市	10,758	5,566	5,192	3,542	1,809	1,733	3,521	1,818	1,703	3,695	1,939	1,756	167
一宮市	11,094	5,644	5,450	3,664	1,859	1,805	3,685	1,886	1,799	3,745	1,899	1,846	47
瀬戸市	3,419	1,719	1,700	1,132	551	581	1,144	573	571	1,143	595	548	72
半田市	3,493	1,822	1,671	1,113	584	529	1,205	615	590	1,175	623	552	64
春日井市	8,666	4,380	4,286	2,839	1,465	1,374	2,874	1,414	1,460	2,953	1,501	1,452	33
豊川市	5,310	2,700	2,610	1,725	871	854	1,775	886	889	1,810	943	867	110
津島市	1,852	975	877	579	293	286	620	346	274	653	336	317	13
碧南市	2,237	1,160	1,077	767	413	354	713	372	341	757	375	382	47
刈谷市	4,175	2,180	1,995	1,338	678	660	1,420	724	696	1,417	778	639	65

(出典：平成29年度 学校基本調査（愛知県）より 平成29年5月1日現在)

(資料 10)

愛知県の高高等学校等進学率（男女）

単位：%

	高校等進学率	大学等進学率		高校等進学率	大学等進学率
昭和30年3月	47.4	20.9	昭和62年3月	90.1	38.8
31	48.7	19.1	63	90.7	38.9
32	49.5	18.7	平成元	91.1	38.3
33	51.6	18.8	2	91.8	37.9
34	54.7	19.6	3	93.1	39.8
35	57.4	19.8	4	94.8	41.4
36	61.6	21.5	5	95.7	43.3
37	65.6	23.3	6	96.0	44.8
38	69.5	25.4	7	96.4	47.1
39	72.2	27.5	8	96.5	48.5
40	74.2	29.6	9	96.4	50.2
41	75.5	27.8	10	96.5	52.5
42	77.8	27.2	11	96.1	53.9
43	80.5	26.3	12	96.0	53.8
44	83.2	27.3	13	95.9	52.4
45	85.8	29.4	14	95.8	52.0
46	87.7	33.5	15	96.4	51.2
47	89.6	34.8	16	96.7	51.9
48	91.0	37.3	17	96.7	54.1
49	91.4	39.2	18	96.8	55.7
50	91.9	40.9	19	97.0	57.7
51	92.1	39.4	20	97.2	58.4
52	91.9	39.2	21	97.2	58.9
53	91.7	38.3	22	97.3	60.0
54	91.8	37.6	23	97.5	58.9
55	92.2	37.7	24	97.7	58.5
56	91.9	37.7	25	97.9	58.3
57	91.5	38.6	26	97.9	58.5
58	90.9	37.6	27	98.1	58.8
59	91.2	36.9	28	98.4	58.7
60	91.1	38.2	29	98.5	57.9
61	90.6	38.2	30	98.5	58.2

(出典：平成30年度学校基本統計速報（愛知県）より 平成30年5月1日現在)

愛知県内の高等学校を卒業した者の
大学進学状況（女子）

（資料11-1）

年度	卒業者総数(名)	大学進学者数(名)	大学進学率(%)
平成27年度	31,758	16,275	51.2
平成28年度	31,860	16,456	51.7
平成29年度	32,753	17,055	52.1

（注）本資料は、平成28年度及び平成29年度学校基本調査(愛知県)を基にして作成

愛知県内の中学校を卒業した者の
高等学校等進学状況（女子）

（資料11-2）

年度	卒業者総数(名)	高等学校進学者数(名)	高等学校進学率(%)
平成27年度	35,899	35,298	98.3
平成28年度	35,923	35,405	98.6
平成29年度	35,013	34,562	98.7

（注）本資料は、平成28年度及び平成29年度学校基本調査(愛知県)を基にして作成

愛知県内の高等学校の在籍者数
の推移（女子）

（資料11-3）

学年	1年生	2年生	3年生
在籍者数(名)	32,114	32,752	31,871

（注）本資料は、資料8を基にして作成

愛知県内の中学校の在籍者数
の推移（女子）

（資料11-4）

学年	1年生	2年生	3年生
在籍者数(名)	34,221	34,260	34,759

（注）本資料は、資料9を基にして作成

（資料11）

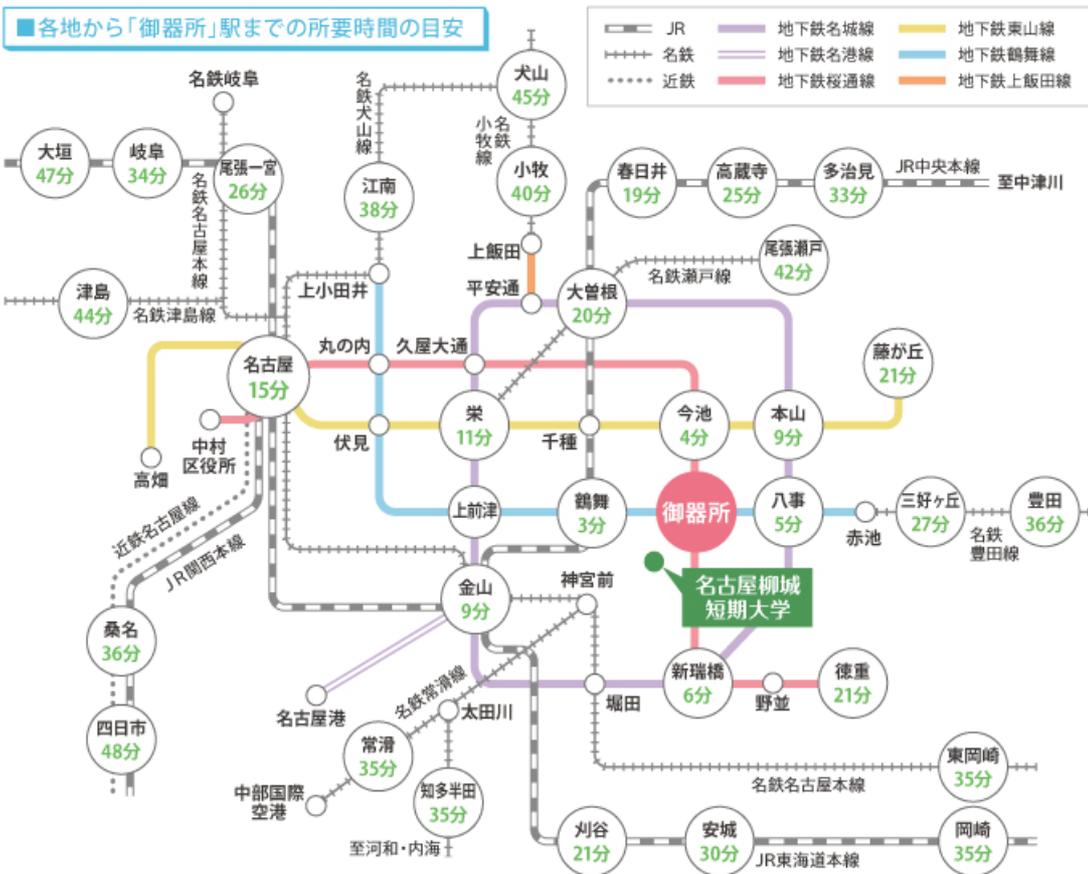
(資料 12)

名古屋柳城短期大学及び新設大学の立地条件



地下鉄 桜通線・鶴舞線「御器所」駅より徒歩5分の好立地!

名古屋柳城短期大学は、名古屋の中心、名古屋市昭和区に位置しており、地下鉄御器所駅は、桜通線、鶴舞線の交差する便利なポイントです。大きな通りから、ほんの少しはいったキャンパスは、小さいながらもチャペルと緑のある、ほっとする空間です。



(出典：本学ホームページより)

愛知県内の大学への流入状況

Marketing DM

VOL.1257 / 2017.11

愛知の大学・短大への流動 (2017年)

愛知の大学への進学者数／進学率 ベスト15

愛知の大学への進学者数ベスト15

出身高校所在地	愛知県の大学への進学者数
1 愛知	27,993
2 岐阜	4,592
3 三重	3,207
4 静岡	2,078
5 長野	638
6 富山	361
7 福井	322
8 石川	247
9 北海道	220
10 兵庫	206
11 大阪	192
12 滋賀	191
13 東京	130
13 京都	130
15 沖縄	122

愛知の大学への進学率ベスト15

出身高校所在地	愛知県の大学への進学者数	その都道府県の大学進学者総数	その都道府県の愛知県への進学率
1 愛知	27,993	38,905	71.95%
2 岐阜	4,592	9,725	47.22%
3 三重	3,207	8,299	38.64%
4 静岡	2,078	17,323	12.00%
5 富山	361	4,559	7.92%
6 福井	322	4,092	7.87%
7 長野	638	8,980	7.10%
8 石川	247	5,658	4.37%
9 滋賀	191	7,182	2.66%
10 高知	56	2,685	2.09%
11 沖縄	122	6,304	1.94%
12 愛媛	106	6,373	1.66%
13 和歌山	65	4,324	1.50%
14 鹿児島	92	6,184	1.49%
15 鳥取	31	2,115	1.47%

愛知の短期大学への進学者数／進学率 ベスト15

愛知の短大への進学者数ベスト15

出身高校所在地	愛知県の短大への進学者数
1 愛知	2,525
2 岐阜	277
3 三重	223
4 静岡	139
5 長野	53
6 福井	17
7 奈良	14
8 鹿児島	13
9 北海道	10
9 富山	10
11 東京	8
11 大阪	8
13 愛媛	7
14 滋賀	5
14 兵庫	5

愛知の短大への進学率ベスト15

出身高校所在地	愛知県の短大への進学者数	その都道府県の短大進学者総数	その都道府県の愛知県への進学率
1 愛知	2,525	2,869	88.01%
2 三重	223	900	24.78%
3 岐阜	277	1,431	19.36%
4 静岡	139	1,468	9.47%
5 福井	17	435	3.91%
6 長野	53	1,855	2.86%
7 奈良	14	756	1.85%
8 富山	10	670	1.49%
9 鹿児島	13	1,278	1.02%
10 愛媛	7	777	0.90%
11 島根	3	450	0.67%
12 宮崎	4	636	0.63%
13 長崎	4	659	0.61%
14 滋賀	5	835	0.60%
15 石川	4	789	0.51%

発表時期：平成29年8月

調査時期：平成29年5月1日現在

データ資料：平成29年度学校基本調査速報（文部科学省ホームページ）より表にして作成

(出典：マーケティング DM VOL. 1257：平成29年11月株式会社 JS コーポレーション発行抜粋)

(資料 14-1)

大学の 신설に関するアンケート (高校 2 年生対象)

この調査は、高校 2 年生のみなさまの高校卒業後の進路についてその希望や内容を調査して、本学院が現在設置を検討している「大学の 신설、(名古屋柳城女子大学(仮称) 入学定員 70 名) 計画の基礎資料として活用させていただきます。この調査にて知り得た情報は、大学開設に係る基礎資料・統計資料として活用し、大学設置に係る申請資料としてのみに活用し、それ以外での活用は行ないません。

なお、大学 신설に伴い名古屋柳城短期大学は、入学定員を 200 名から 130 名に定員変更する予定です。

<基礎情報>

R 1. 性別 (いずれかに○を付けてください) 1. 男子 2. 女子

R 2. あなたのお住まいの地域はどこですか (あてはまる地域に○を付けてください)

1. 名古屋市内 2. 尾張東部 3. 尾張西部 4. 知多 5. 三河
(尾張東部: 春日井市・瀬戸市・小牧市・犬山市・尾張旭市・豊明市・日進市・東郷町・長久手市)
(尾張西部: 一宮市・津島市・江南市・稲沢市・岩倉市・愛西市・清須市・北名古屋市・弥富市・あま市・豊山町・大口町・扶桑町・大治町・蟹江町・飛島村)
(知多: 大府市・東海市・知多市・常滑市・半田市・東浦町・阿久比町・武豊町・美浜町・南知多町)
(三河: 上記市町村以外)

R 3. あなたは高校卒業後、どのような進路に進みたいと思っていますか。

次の中から 1 つだけ選んでください。

1. 4 年制大学 2. 短期大学 3. 専門学校
4. 就職

→ 4 に○を付けた方はここで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

▽ R 3 で選択肢 1. 4 年制大学 2. 短期大学 3. 専門学校 のいずれかに
○を付けた方は、下記の調査に引き続きご協力をお願いいたします。

<進学に関する質問>

R 3 で「2. 短期大学」と答えた方にお聞きます。

Q 1. 名古屋柳城短期大学では、現在保育科にて保育士資格・幼稚園教諭 2 種免許を取得することが可能ですが、この名古屋柳城短期大学保育科に受験もしくは受験を検討しますか。

1. 受験をする 2. 一応受験を考える 3. 受験校の一つとして考える
4. 受験しない 5. わからない

Q 2. 「1. 受験をする」「2. 一応受験を考える」「受験校の一つとして考える」と答えた方にお聞きます。

あなたは、この名古屋柳城短期大学保育科に合格した場合、進学を希望しますか。

1. 進学を希望する 2. 一応進学を考える 3. 進学先の一つとして考える
4. 進学を希望しない 5. わからない

R 3 で「1. 4 年制大学」「2. 短期大学」「3. 専門学校」と答えた方にお聞きます。

Q 3. あなたが「進学したいと考えている」もしくは「興味を持っている」分野はどれですか。

次の中からあてはまるものを 2 つまで選び、番号に○を付けてください。

1. 保育・幼児教育学関係 2. 商学・経営学・会計学関係 3. 経済学関係
4. 語学(外国語)・国際・異文化交流 5. 文学関係 6. 社会学
7. 法学・政治学・経済学関係 8. 初等・中等・高等教育関係 9. 医学・看護学・薬学関係
10. 観光学関係 11. 理工学関係 12. 農・畜産・水産関係
13. 情報処理関係 14. 芸術(美術・音楽)関係 15. 食品・栄養関係
16. 体育関係 17. 社会福祉学関係 18. 理美容関係
19. その他(具体的には→)

(資料 14-1)

R3で「1. 4年制大学」「2. 短期大学」「3. 専門学校」と答えた方にお聞きます。

以下の問いには、「添付資料「名古屋柳城女子大学（仮称）（設置構想中）」をご覧ください、お答えください。

Q4. あなたは、「名古屋柳城女子大学（仮称）」の新設をどう思われますか。

1. 交通至便の名古屋市内に大学ができることは、進路選択の裾がりが良いことだと思う
2. 短大や専門学校に比べより高度な学修、研究などに取り組むことができるので良いと思う
3. 社会的なニーズもあり、大学での学びは必要である。
4. 高度な専門知識と技術、研究レベルをもち、一つの分野に特化した大学で学ぶことができることは良いと思う。
5. 専門職業人を目指せることは良いと思う
6. その他（具体的には→)

Q5. あなたは、「保育・幼児教育」について関心はありますか

1. 関心がある
 2. どちらかといえば関心がある
 3. どちらとも言えない
 4. どちらかといえば関心はない
 5. まったく関心がない。
4. 5に○を付けた方はここで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

Q6. 新たに保育・幼児教育に特化した保育士資格・幼稚園教諭1種免許の取得が可能な学部を持つ4年制大学ができるとしたら関心がありますか？

1. 関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば関心はない
5. まったく関心がない。

Q7. Q6で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きます。

その理由は何ですか？下の選択肢からあてはまるものを1つ選んでください。

1. 進学先・進路の選択肢が増えるから
2. 県内の学校への進学を希望しているから。
3. 保育・幼児教育の職に就きたいから
4. 就職に有利だから
5. 幅広い知識や実践力が身につくから
6. 資格・免許が取得できるから
7. 保育者養成の実績を持つ柳城の4大だから
8. 4年制でゆっくり学べるから
9. その他 ()

Q8. Q6で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きます。

保育者養成に実績を持つ柳城が、保育士資格・幼稚園教諭1種免許を取得できる4年制大学を設置した場合、その学部・学科の受験もしくは受験を検討しますか。

1. 受験をする
2. 一応受験を考える
3. 受験校の一つとして考える
4. 受験しない
5. わからない

Q9. Q8で「1. 受験をする」「2. 一応受験を考える」「受験校の一つとして考える」と答えた方にお聞きます。

あなたは、保育者養成に実績を持つ柳城の4年制大学に合格した場合、進学を希望しますか。

1. 進学を希望する
2. 一応進学を考える
3. 進学先の一つとして考える
4. 進学を希望しない
5. わからない

Q10. Q9で「1. 進学を希望する」「2. 一応進学を考える」「3. 進学先の一つとして考える」と答えた方にお聞きます。

その理由は何ですか。下の選択肢からあてはまるものを2つまで選んでください。

1. 希望する分野であり保育士資格・幼稚園教諭免許が取得できるから
2. 交通至便の名古屋市内にある大学だから
3. 保育者養成に実績を持つ名古屋柳城短期大学の4年制大学だから
4. 就職に有利になりそうだから
5. 実践力が修得できそうだから
6. 「保育インターシップ」など他校にない魅力がありそうだから
7. その他（具体的には→)

質問は以上で終わりです。ご協力を感謝いたします。

(資料 14-2) (1/8)

大学の 신설に関するアンケート調査（高校2年生対象）（集計結果）

【調査対象等】

本学が平成 32 年度に「名古屋柳城女子大学」を開設し、大学に「こども学部こども学科」70 名の設置とともに、名古屋柳城短期大学に保育科 130 名の併設を予定している。そのため
の策定するに当たり、学生確保の見通しを計量的な数値から確認することを目的とした高
校生アンケート調査を実施した。アンケート項目は全 13 項目で、全て選択肢とした。

① 調査時期

平成 30 年 6 月～平成 30 年 7 月

② 調査対象

平成 32 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校 2 年生（平成 32 年 3 月卒業
予定者）の女子 4,745 名（R1～R3 及び Q1・Q2 の質問事項は男子回答者 2,698 名も対
象）をアンケートの対象者とした。

③ 調査方法

アンケート実施の了承が得られた高校に、高校生アンケート調査用紙（必要部数）（資
料 14-1）を送付。そして各高校の教員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用
紙を配付し、合わせてアンケート調査用紙配付時に、回答者に対する新学部新学科の
内容を極力周知する観点から別紙資料（資料 15-1）も配付。アンケート記入後、その
場で回収。

④ 実施高校

愛知県内の高等学校 70 校（名古屋地区 29 校、尾張地区 35 校、三河地区 6 校）にアン
ケート用紙を送付（資料 15-2）。

※表内の比率は四捨五入のため、各項目の合計値は一致しない。

【調査結果概要】

R1. 性別

No.	カテゴリ	件数/名	全体/%
1	男子	2,698	36.1
2	女子	4,745	63.6
3	未回答	23	0.3
	合計	7,466	100.0

R2. あなたのお住いの地域はどこですか

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	件数/名 (男子)	合計 (男女)	全体/%
1	名古屋市内	1,692	1,118	2,810	37.8
2	尾張東部	1,178	699	1,877	25.2
3	尾張西部	894	415	1,309	17.6
4	知多	444	163	607	8.2
5	三河	499	287	786	10.6
6	未回答	38	16	54	0.7
	合計	4,745	2,698	7,443	100.0

R3. あなたは高校卒業後、どのような進路に進みたいと思っていますか。

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%	件数/名 (男子)	全体/%
1	4年制大学	2,335	49.2	1,904	70.6
2	短期大学	488	10.3	32	1.2
3	専門学校	1,036	21.8	240	8.9
4	就職	852	18.0	515	19.1
5	未回答	34	0.7	7	0.3
	合計	4,745	100.0	2,698	100.0

(資料 14-2)

(3/8)

Q1. R3で「2. 短期大学」と答えた方にお聞きします。
名古屋柳城短期大学では、現在保育科にて保育士資格・幼稚園教諭2種免許を取得することが可能ですが、この名古屋柳城短期大学保育科に受験もしくは受験を検討しますか。

R3×Q1 「短期大学」×「受験」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	件数/名 (男子)	合計 (男女)	全体/%
1	受験をする	14	3	17	3.3
2	一応受験を考える	39	0	39	7.5
3	受験校の一つとして考える	101	4	105	20.2
4	受験しない	159	15	174	33.5
5	わからない	152	9	161	31.0
6	未回答	23	1	24	4.6
	合計	488	32	520	100.0

Q2. 「1. 受験をする」「2. 一応受験を考える」「3. 受験校の一つとして考える」と答えた方にお聞きします。
あなたは、この名古屋柳城短期大学保育科に合格した場合、進学を希望しますか。

R3×Q1×Q2 「短期大学」×「受験」×「進学」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	件数/名 (男子)	合計 (男女)	全体/%
1	進学を希望する	39	3	42	26.1
2	一応進学を考える	34	2	36	22.4
3	進学先の一つとして考える	68	1	69	42.9
4	進学を希望しない	0	1	1	0.6
5	わからない	11	0	11	6.8
6	未回答	2	0	2	1.2
	合計	154	7	161	100.0

Q3. R3で「1. 4年制大学」「2. 短期大学」「3. 専門学校」と答えた方にお聞きします。

あなたが「進学したいと考えている」もしくは「興味を持っている」分野はどれですか。（あてはまるものを2つまで選ぶ）

R3×Q3 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「分野」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	保育・幼児教育学関係	859	14.9
2	商学・経営学・会計学関係	230	4.0
3	経済学関係	158	2.7
4	語学（外国語）・国際・異文化交流	624	10.8
5	文学関係	321	5.6
6	社会学	93	1.6
7	法学・政治学・経済学関係	140	2.4
8	初等・中等・高等教育関係	239	4.2
9	医学・看護学・薬学関係	725	12.6
10	観光学関係	147	2.6
11	理工学関係	67	1.2
12	農・畜産・水産関係	64	1.1
13	情報処理関係	85	1.5
14	芸術（美術・音楽）関係	442	7.7
15	食品・栄養関係	431	7.5
16	体育関係	203	3.5
17	社会福祉学関係	156	2.7
18	理美容関係	458	8.0
19	その他	311	5.4
	合計	5,753	100.0

(資料 14-2)

(5/8)

Q4. R3で「1. 4年制大学」「2. 短期大学」「3. 専門学校」と答えた方にお聞きします。
あなたは「名古屋柳城女子大学（仮称）」の新設をどう思われますか。

R3×Q4 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	交通至便の名古屋市内に大学ができることは、進路選択の拡がりが良いことだと思う	1,443	37.4
2	短大や専門学校に比べより高度な学修、研究などに取り組むことができるので良いと思う	568	14.7
3	社会的なニーズもあり、大学での学びは必要である	263	6.8
4	高度な専門知識と技術、研究レベルをもち、一つの分野に特化した大学で学ぶことができることは良いと思う	476	12.3
5	専門職業人を目指せることは良いと思う	986	25.6
6	その他	108	2.8
7	未回答	15	0.4
	合計	3,859	100.0

Q5あなたは「保育・幼児教育」について関心はありますか

R3×Q5 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「保育・幼児教育に関心」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	関心がある	873	22.6
2	どちらかといえば関心がある	853	22.1
3	どちらとも言えない	593	15.4
4	どちらかと言えば関心はない	522	13.5
5	まったく関心がない	991	25.7
6	未回答	27	0.7
	合計	3,859	100.0

Q6. 新たに保育・幼児教育に特化した保育士資格・幼稚園教諭1種免許の取得が可能な学部を持つ4年制大学ができるとしたら関心がありますか

R3×Q6 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	関心がある	543	19.1
2	どちらかといえば関心がある	677	23.8
3	どちらとも言えない	849	29.9
4	どちらかと言えば関心はない	304	10.7
5	まったく関心がない	121	4.3
6	未回答	347	12.2
	合計	2,841	100.0

Q7. Q6で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものを1つ選ぶ)

R3×Q6×Q7 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「理由」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	進学先・進路の選択肢が増えるから	379	31.1
2	県内の学校への進学を希望しているから	34	2.8
3	保育・幼児教育の職に就きたいから	399	32.7
4	就職に有利だから	74	6.1
5	幅広い知識や実践力が身につくから	98	8.0
6	資格・免許が取得できるから	180	14.8
7	保育者養成の実績を持つ柳城の4大だから	5	0.4
8	4年制でゆっくり学べるから	36	3.0
9	その他	8	0.7
10	未回答	7	0.6
	合計	1,220	100.0

Q8. Q7で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。
保育者養成に実績を持つ柳城が、保育士資格・幼稚園教諭1種免許を取得できる4年制大学を設置した場合、その学部・学科の受験もしくは受験を検討しますか

R3×Q6×Q8 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「受験」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	受験をする	58	4.8
2	一応受験を考える	198	16.2
3	受験校の一つとして考える	355	29.1
4	受験しない	180	14.8
5	わからない	394	32.3
6	未回答	35	2.9
	合計	1,220	100.0

Q9. Q8で「1. 受験をする」「2. 一応受験を考える」「3. 受験校の一つとして考える」
あなたは、保育者養成に実績を持つ柳城の4年制大学に合格した場合、進学を希望しますか。

R3×Q6×Q8×Q9 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「受験」×「進学」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	進学を希望する	74	12.1
2	一応進学を考える	127	20.8
3	進学先の一つとして考える	133	21.8
4	進学を希望しない	3	0.5
5	わからない	23	3.8
6	未回答	251	41.1
	合計	611	100.0

Q10. Q9で「1. 進学を希望をする」「2. 一応進学を考える」「3. 進学先の一つとして考える」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものを2つまで選ぶ)

R3×Q6×Q8×Q9×Q10 「4年制大学」「短期大学」「専門学校」×「新設大学に関心」×「受験」×「進学」×「理由」

No.	カテゴリ	件数/名 (女子)	全体/%
1	希望する分野であり保育士資格・幼稚園教諭免許が取得できるから	251	48.8
2	交通至便の名古屋市内にある大学だから	90	17.5
3	保育者養成に実績を持つ名古屋柳城短期大学の4年制大学だから	60	11.7
4	就職に有利になりそうだから	68	13.2
5	実践力が修得できそうだから	22	4.3
6	「保育インターシップ」など他校にない魅力がありそうだから	20	3.9
7	その他	3	0.6
	合計	514	100.0

(表)

大学設置構想中 (リーフレット)

(資料 15-1)

柳城学院では、より高度な保育についての学びの場として、
2020年4月に四年制の「名古屋柳城女子大学」(仮称)を設置し、
「こども学部こども学科」(仮称)を開設することを構想しています。

4年制

名古屋柳城女子大学 (仮称)

NAGOYA RYUJO WOMEN'S UNIVERSITY

こども学部 こども学科 (仮称)

2020年4月開設予定 (設置構想中)

名古屋柳城女子大学(仮称)における、建学の精神と育成する人間像

本学院創設時からの「愛をもって仕えよ」というキリスト教精神を受け継ぎ、「人びとと共に生き、人びとに仕える」心を体得して現代社会に貢献できる、以下のような女性の育成を目指します。

- ◆ 相手を思いやることのできる人間性と共感力を兼ね備えた教養豊かな人
- ◆ 専門的職業人として成長を続けることのできる高い使命感と倫理観をもった人
- ◆ 知的探究心と実践力を持ち、人びとと豊かな関係を築いていくことのできる人

保育幼児教育の世界に
新たな風を送り込みます。

大学名・学部及び
学科及び入学定員

名古屋柳城女子大学(仮称)

4年制(予定)

こども学部こども学科(仮称)

入学定員 70名(予定)



名古屋柳城女子大学 (仮称)
NAGOYA RYUJO WOMEN'S UNIVERSITY

こども学部 こども学科 2020年4月設置構想中

※設置構想中であり、内容は変更されることがあります。

(裏)

(資料 15-1)



取得可能な資格・免許(予定)

- 保育士資格
- 幼稚園教諭1種免許状

こども学部こども学科(仮称)

教育目標と学びの特色(予定)

子どもを学び、子どもから学び、学生自身が成長できる教育課程

豊かな人間性	世界市民としての教養と広い視野	いのちを育む保育者の役割の理解
高い専門性 しなやかな感性	子どもの多様な個性や思いを汲み取り、応える力	子どもの表現を引き出す力
創造力 実践力	保育を自ら創造できる高度な実践力	

一年次から4年間、保育の日常を現場で学ぶ

卒業後の進路

- ◆ 各市町村が運営する公立保育園・幼稚園・こども園
- ◆ 私立保育園・幼稚園・認定こども園
- ◆ 児童福祉施設(乳児院・児童養護施設・知的障がい児施設・発達支援センター・肢体不自由児施設など)

短期大学での就職率100%の実績をもとに、
学生一人ひとりに寄り添う徹底した就職支援を行います。
(名古屋柳城短期大学は大学を設置した場合も、同じ御器所のキャンパスで存続します)

入学に必要な学納金(予定)

入学金(初年度のみ)	240,000円
授業料	700,000円
教育充実費	385,000円
実験実習費	45,000円

計 初年度納入金 **1,370,000円**
※その他諸費用があります。

設置構想中であり、内容は変更されることがあります。

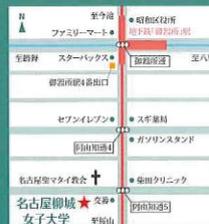


名古屋柳城女子大学 (仮称)

NAGOYA RYUJO WOMEN'S UNIVERSITY

〒466-0034 愛知県名古屋市昭和区明月町2-54

TEL 052-841-2635 (大学設置準備室)



ACCESS

名古屋市営地下鉄
鶴舞線・桜通線
「御器所駅」
4番出口より

徒歩5分



(資料 15-2)

大学の新設に関するアンケート調査協力先一覧

No.	地区別	設置	高等学校名称	所在地	集計数
1	名古屋地区	愛知県立	熱田高等学校	名古屋市熱田区千年1-17-71	88
2	名古屋地区	愛知県立	天白高等学校	名古屋市天白区植田東1-601	76
3	名古屋地区	愛知県立	中村高等学校	名古屋市中村区菊水町1-2-18	82
4	名古屋地区	愛知県立	名古屋西高等学校	名古屋市西区天神山町4-7	78
5	名古屋地区	愛知県立	中川商業高等学校	名古屋市中川区野田3-280	72
6	名古屋地区	愛知県立	緑丘高等学校	名古屋市守山区緑ヶ丘1008	203
7	名古屋地区	愛知県立	昭和高等学校	名古屋市瑞穂区玉水町1-18	274
8	名古屋地区	愛知県立	守山高等学校	名古屋市守山区中志段味字元屋敷1267	49
9	名古屋地区	愛知県立	惟信高等学校	名古屋市港区惟信町2-262	76
10	名古屋地区	愛知県立	南陽高等学校	名古屋市港区大西2-99	39
11	名古屋地区	名古屋市立	富田高等学校	名古屋市中川区富田町榎津上鶴垂111	78
12	名古屋地区	名古屋市立	北高等学校	名古屋市北区如來町50	81
13	名古屋地区	名古屋市立	山田高等学校	名古屋市西区二方町19-1	260
14	名古屋地区	名古屋市立	桜台高等学校	名古屋市南区霞町21	37
15	名古屋地区	名古屋市立	西陵高等学校	名古屋市西区児玉2-20-65	82
16	名古屋地区	名古屋市立	若宮商業高等学校	名古屋市天白区古川町76	75
17	名古屋地区	名古屋市立	緑高等学校	名古屋市緑区旭出1-1104	76
18	名古屋地区	私立	菊華高等学校	名古屋市守山区小幡5-8-13	40
19	名古屋地区	私立	東海学園高等学校	名古屋市天白区中平2-901	209
20	名古屋地区	私立	中京大学附属中京高等学校	名古屋市昭和区川名山町122	77
21	名古屋地区	私立	東邦高等学校	名古屋市名東区平和が丘3-11	71
22	名古屋地区	私立	愛知高等学校	名古屋千種区光が丘2-11-41	14
23	名古屋地区	私立	愛知みずほ大学瑞穂高等学校	名古屋瑞穂区春鼓町2-13	168
24	名古屋地区	私立	名古屋経済大学高蔵高等学校	名古屋瑞穂区高田町3-28-1	445
25	名古屋地区	私立	名城大学附属高等学校	名古屋市中村区新富町1-3-16	83
26	名古屋地区	私立	同朋高等学校	名古屋市中村区稲葉地町7-1	71
27	名古屋地区	私立	至学館高等学校	名古屋市東区大幸南2-1-10	74
28	名古屋地区	私立	愛知工業大学名電高等学校	名古屋千種区若水3-2-12	122
29	名古屋地区	私立	名古屋経済大学市邨高等学校	名古屋千種区北千種3-1-37	103
30	尾張地区	愛知県立	日進西高等学校	日進市浅田町上小深田8-4	136
31	尾張地区	愛知県立	大府高等学校	大府市月見町6-180	84
32	尾張地区	愛知県立	大府東高等学校	大府市横根町膝折1-4	40
33	尾張地区	愛知県立	桃陵高等学校	大府市中央町5-15	35
34	尾張地区	愛知県立	日進高等学校	日進市米野木町三ヶ峯4-18	66
35	尾張地区	愛知県立	東郷高等学校	愛知郡東郷町春木狐塚3801-2	79
36	尾張地区	愛知県立	武豊高等学校	知多郡武豊町ヲヲガケ8	73
37	尾張地区	愛知県立	常滑高等学校	常滑市金山四井池10	99
38	尾張地区	愛知県立	半田商業高等学校	半田市白山町2-30	80
39	尾張地区	愛知県立	東浦高等学校	知多郡東浦町生路富士塚20	84
40	尾張地区	愛知県立	佐屋高等学校	愛西市東條町高田39	42
41	尾張地区	愛知県立	犬山高等学校	犬山市蓮池2-21	192
42	尾張地区	愛知県立	犬山南高等学校	犬山市犬山北首塚2	213
43	尾張地区	愛知県立	津島東高等学校	津島市蛭間町弁日1	99
44	尾張地区	愛知県立	津島北高等学校	津島市又吉町4-1	113
45	尾張地区	愛知県立	長久手高等学校	長久手市岩作高山38	79
46	尾張地区	愛知県立	高蔵寺高等学校	春日井市藤山台1-3-2	78
47	尾張地区	愛知県立	尾北高等学校	江南市北山町西4	12
48	尾張地区	愛知県立	春日井南高等学校	春日井市如意申町3-5-1	84
49	尾張地区	愛知県立	春日井西高等学校	春日井市田楽町1320	223
50	尾張地区	愛知県立	瀬戸西高等学校	瀬戸市緑町1-140	80
51	尾張地区	愛知県立	瀬戸北総合高等学校	瀬戸市本郷町260	219
52	尾張地区	愛知県立	瀬戸高等学校	瀬戸市東山町1-5	207
53	尾張地区	愛知県立	杏和高等学校	稲沢市祖父江町二俣宮西1-1	77
54	尾張地区	愛知県立	東海商業高等学校	東海市大田町曾根1	79
55	尾張地区	愛知県立	古知野高等学校	江南市古知野町高瀬1番地	78
56	尾張地区	愛知県立	岩倉総合高等学校	岩倉市北島町川田1	76
57	尾張地区	愛知県立	一宮商業高等学校	一宮市文京2-1-7	68
58	尾張地区	愛知県立	木曾川高等学校	一宮市開明樋西11-1	80
59	尾張地区	愛知県立	美和高等学校	あま市美和町篠田五ツ藤1	80
60	尾張地区	私立	清林館高等学校	津島市本町5-2	79
61	尾張地区	私立	修文女子高等学校	一宮市日光町6-1	74
62	尾張地区	私立	聖カピタニオ女子高等学校	瀬戸市西長根町137	117
63	尾張地区	私立	栄徳高等学校	長久手市岩作三ヶ峯1-32	367
64	尾張地区	私立	星城高等学校	豊明市栄町新左山20	73
65	三河地区	愛知県立	豊野高等学校	豊田市渡刈町3-3-1	118
66	三河地区	愛知県立	豊田東高等学校	豊田市御立町11-1	81
67	三河地区	愛知県立	三好高等学校	みよし市三好町東山110-1	67
68	三河地区	愛知県立	衣台高等学校	豊田市太平町平山5	212
69	三河地区	私立	岡崎城西高等学校	愛知県岡崎市中園町川成98	72
70	三河地区	私立	豊田大谷高等学校	愛知県豊田市保見町南山1	48
	合		計		7,466

1. (書類等の題名)

愛知県内の保育・幼児教育系私立大学の入試状況（過去5年間）

本文3ページ及び10ページ、【資料16】

2. (出典)

- ・入学定員及び入学者数は、愛知県保育系学生就職連絡協議会資料による。
- ・志願者数及び合格者数は、各大学のホームページ、及び株式会社進研アドからの入試資料による。

3. (その他の説明)

愛知県内の保育・幼児教育分野の私立大学16大学の入試状況（入学定員・志願者数・入学者数・志願倍率・定員超過率）のデータを一覧にしたものである。

愛知県内の保育・幼児教育系私立大学の地区別の入試状況（5年間の総計）

(資料 17-1)

地区	入学定員(名)	志願者数(名)	入学者数(名)	志願倍率(倍) <平均>	定員超過率(%) <平均>
名古屋市内	3,250	16,880	3,439	5.19	106
尾張地区 (名古屋市を除く)	3,870	14,463	3,512	3.74	91
三河地区	850	1,546	685	1.82	81

(注)本資料は、資料16の数字(平成26年度入試～平成30年度入試)を基にして作成

愛知県内の保育・幼児教育系私立の女子大学と共学大学との入試状況（5年間の総計）

(資料 17-2)

地区	入学定員(名)	志願者数(名)	入学者数(名)	志願倍率(倍) <平均>	定員超過率(%) <平均>
女子大学5校	3,100 (2,600)	14,615 (13,692)	3,179 (2,778)	4.71 (5.27)	102.5 (106.8)
共学大学11校	4,870	18,274	4,457	3.75	91.5

注1 本資料は、資料16の数字(平成26年度入試～平成30年度入試)を基にして作成
注2 ()内の数字は、名古屋地区(3校)と隣接する尾張地区(1校)の女子大学の合計(4校)

(資料 17)

(資料 18)

名古屋柳城短期大学の就職状況（5年間）

各年度3月31日現在

(名)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業・修了者数	221	226	213	170	207
就職希望者数	194	191	194	152	178
就職決定者数	194	191	194	152	178
進学者数	17	22	17	13	27
その他	10	13	2	5	0
就職内定率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
幼稚園・保育所・認定こども園・福祉施設 への就職内定率	97.4%	95.3%	93.3%	98.0%	97.8%

内訳

(名)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
卒業生数	221	226	213	170	207	
保育所	公立	20	19	18	24	25
	私立	73	70	68	44	50
幼稚園	公立	1	1	0	1	0
	私立	79	86	82	63	68
認定こども園	0	0	10	11	27	
施設	16	6	3	6	4	
学校	0	0	0	0	0	
一般企業	5	9	13	3	4	
進学	17	22	17	13	27	
その他	10	13	2	5	2	

高校生が将来就きたい/その理由

第7回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」2015年

17. 将来就きたい・就いてほしい職業/その理由

1) 高校生が将来就きたい職業

▶ 高校生の56%が就きたい職業が「ある」。

▶ 就きたい職業のトップは「教師」。以下「公務員」「看護師」など国家資格が必要な職業が上位。

男子は「公務員」「教師」「製造業」、女子は「看護師」「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」「教師」が人気。

- 高校生に将来就きたい職業はあるか尋ねたところ、「ある」が56%と過半数を占める。
- 性別にみると、女子で「ある」が64%と男子(48%)を大きく上回り、女子の多くが将来就きたい職業を決めている。
- 具体的に就きたい職業は、「教師」が最も多く、「公務員」「看護師」「製造業(自動車・造船など)」が続く。
- 男子は、「公務員」が最も高い。以下「教師」「製造業(自動車・造船など)」「建築士・建築関連」。
女子は、「看護師」が最も高い。以下「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」「教師」「俳優・アイドル・ミュージシャン・声優・芸能関連」。

【高校生】就きたい職業ランキング (就きたい職業回答者/自由回答) (%)

全体		
2015年		
順位	職業	(n= 992)
1	教師	8.6
2	公務員	8.3
3	看護師	7.3
4	製造業(自動車・造船など)	6.5
5	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	5.9
6	建築士・建築関連	4.3
7	薬剤師	3.3
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	3.3
	俳優・アイドル・ミュージシャン・声優・芸能関連	3.3
10	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連	3.2
11	管理栄養士・栄養士	2.6
12	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	2.5
	技術者・研究者	2.5
14	会社員	2.3
15	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2.1
	空港職員・航空関連	2.1
	エンジニア・プログラマー・IT関連	2.1
18	ファッションデザイナー・スタイリスト・アパレル	2.0
19	放射線技師・臨床検査技師	1.9
	画家・イラストレーター・アニメーター・CGデザイナー・芸術・ゲーム関連	1.9
	トリマー・動物関連	1.9

男子		
2015年		
順位	職業	(n= 407)
1	公務員	15.5
2	教師	11.3
	製造業(自動車・造船など)	11.3
4	建築士・建築関連	9.3
5	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	4.4
	エンジニア・プログラマー・IT関連	4.4
7	技術者・研究者	3.9
8	画家・イラストレーター・アニメーター・CGデザイナー・芸術・ゲーム関連	3.2
9	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	2.7
10	薬剤師	2.0
	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連	2.0
	会社員	2.0

女子		
2015年		
順位	職業	(n= 585)
1	看護師	11.5
2	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	9.6
3	教師	6.7
4	俳優・アイドル・ミュージシャン・声優・芸能関連	4.6
5	薬剤師	4.4
	管理栄養士・栄養士	4.4
7	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連	4.2
8	公務員	3.2
	空港職員・航空関連	3.2
	ファッションデザイナー・スタイリスト・アパレル	3.2

1. (書類等の題名)

愛知県内の保育・幼児教育系私立大学・短期大学の就職先一覧 (5年間)
本文 5 ページ及び 16 ページ、【資料 20】

2. (出典)

愛知県保育系学生就職連絡協議会資料に基づいて作成

3. (その他の説明)

平成 25 年度から平成 29 年度までの当該年度 3 月 31 日現在の愛知県の保育・幼児教育系の大学 16 校、短期大学 12 校の就職先をまとめたものである。

愛知県内の保育・幼児教育系私立の女子大学と共学大学との公立保育士及び公立幼稚園教諭の採用状況（5年間）

地区	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	保育所（名）	幼稚園（名）	計												
女子大学5校	185	16	201	181	11	192	184	18	202	223	13	236	230	19	249
			59.8%			55.8%			56.7%			60.2%			63.8%
共学大学11校	119	16	135	131	21	152	145	9	154	149	7	156	129	12	141
			40.2%			44.2%			43.3%			39.8%			36.2%
合 計	304	32	336	312	32	344	329	27	356	372	20	392	359	31	390
			100%			100%			100%			100%			100%

注1 本資料は、資料22の数字(平成25年度～平成29年度就職先一覧)を基にして作成

(資料 22)

(資料 22-1)

高等学校内ガイダンス (平成 29 年度実績)

回数	月日	高等学校名	学年	参加者数
1	4月18日	南陽高等学校	3	38
2	4月20日	衣台高等学校	2	7
3	5月1日	内海高等学校	3	2
4	5月10日	土岐商業高等学校	1~3	3
5	5月12日	富田高等学校	3	9
6	5月13日	南陽高等学校	3	5
7	5月19日	恵那南高等学校	3	3
8	5月19日	半田商業高等学校	1	2
9	5月22日	三谷水産高等学校	3	2
10	5月24日	市邨高等学校	3	4
11	5月25日	鳴海高等学校	3	28
12	5月25日	南陽高等学校	3	11
13	5月29日	高山西高等学校	3	5
14	6月1日	瀬戸高等学校	3	4
15	6月1日	至学館高等学校	3	3
16	6月7日	いなべ総合学園高等学校	1	1
17	6月22日	半田農業高等学校	3	8
18	6月22日	愛知黎明高等学校	3	3
19	6月28日	蒲郡高等学校	2	22
20	6月28日	稲沢東高等学校	3	5
21	7月5日	名古屋商業高等学校	1~3	12
22	7月5日	豊川高等学校	2	4
23	7月7日	飛騨高山高等学校	1~3・保護者	2
24	7月7日	栄徳高等学校	1~3	7
25	7月11日	名古屋大谷高等学校	3	6
26	7月14日	愛濃学園農業高等学校	1~3	3
27	7月18日	誠信高等学校	1	29
28	7月24日	岐阜城北高等学校	1	14
29	8月4日	愛知商業高等学校	2	7
30	9月29日	益田清風高等学校	1~3	2
31	10月4日	多治見西高等学校	1~3	3
32	10月19日	一色高等学校	1	13
33	10月19日	武豊高等学校	2・保護者	2
34	10月20日	守山高等学校	2	0
35	10月20日	飛騨高山高等学校	1~3・保護者	1
36	10月25日	名城大学附属高等学校	1	5
37	10月26日	中川商業高等学校	1	25
38	10月29日	飛騨高山高等学校	1~3・保護者	0
39	10月30日	海翔高等学校	2	12
40	11月9日	松川高等学校	1	11
41	11月9日	半田農業高等学校	1	7
42	11月9日	中川商業高等学校	2	8
43	11月13日	大府高等学校	2	32
44	11月16日	惟信高等学校	2	59
45	11月21日	名古屋経済大学高蔵高等学校	2	6
46	11月27日	知多翔洋高等学校	1	33
47	11月28日	豊野高等学校	2	1
48	11月29日	蒲郡高等学校	2	8
49	1月11日	南陽高等学校	2	22
50	1月18日	尾北高等学校	1	36
51	1月29日	蒲郡高等学校	1	19
52	2月16日	朝明高等学校	1・2	5
53	3月2日	名古屋大谷高等学校	2	14
54	3月5日	名古屋大谷高等学校	1	26
55	3月5日	豊田大谷高等学校	2	8
56	3月6日	工業高等学校	1・2	27
57	3月6日	佐屋高等学校	2	6
58	3月8日	桜花学園高等学校	2	18
59	3月8日	熱田高等学校	1	9
60	3月16日	犬山南高等学校	2	4
61	3月16日	古知野高等学校	1・2	40
62	3月16日	知立高等学校	2	5
63	3月19日	山田高等学校	1	70
64	3月19日	山田高等学校	2	36
65	3月19日	瀬戸北総合高等学校	1・2	10
66	3月28日	関商工高等学校	1・2・保護者	3
合 計				835

(資料 22-2)

高等学校内模擬講義 (平成 29 年度実績)

回数	月日	高等学校名	学年	参加者数
1	6月7日	富田高等学校	2	20
2	6月22日	栄徳高等学校	1	48
3	10月19日	瀬戸西高等学校	2	28
4	10月19日	同朋高等学校	2	42
5	11月13日	春日井高等学校	1	0
6	11月16日	瀬戸高等学校	2	14
7	12月11日	豊田東高等学校	2	21
合 計				173

(資料 22-3)

進学相談会 (平成 29 年度実績)

回数	月日	地区	懇談者数
1	4月13日	名古屋	11
2	4月19日	名古屋	21
3	4月19日	多治見	2
4	4月21日	豊田	13
5	4月21日	安城	6
6	4月22日	名古屋	2
7	4月24日	半田	6
8	4月25日	四日市	2
9	4月27日	一宮	17
10	4月27日	岡崎	5
11	5月9日	名古屋	3
12	5月15日	飯田	1
13	5月19日	高山	2
14	5月19日	半田	1
15	5月23日	大垣	2
16	5月24日	多治見	1
17	5月27日	名古屋	13
18	5月28日	名古屋	27
19	5月30日	伊勢	3
20	6月8日	春日井	10
21	6月20日	津島	6
22	6月20日	豊田	5
23	6月30日	中津川	2
24	7月7日	名古屋	6
25	7月25日	名古屋	5
26	8月30日	名古屋	5
27	8月31日	名古屋	5
28	9月6日	岐阜	10
29	9月28日	小牧	4
30	10月27日	豊田	12
31	10月27日	安城	3
32	10月31日	名古屋	3
33	12月9日	名古屋	17
34	12月13日	名古屋	14
35	12月18日	愛知	4
36	12月20日	愛知	4
37	12月21日	名古屋	5
38	12月22日	豊田	2
39	12月22日	岡崎	0
40	12月22日	半田	0
41	2月1日	瀬戸	1
42	2月8日	犬山	13
43	2月16日	高山	1
44	2月19日	安城	0
45	2月22日	津島	0
46	3月6日	中津川	2
47	3月6日	土岐	3
48	3月7日	碧南	0
49	3月14日	一宮	6
50	3月19日	豊田	0
51	3月27日	名古屋	4
52	3月28日	名古屋	3
合 計			293

2040年までの保育ニーズの将来展望と 対応の在り方

2017年10月31日

自治体戦略2040構想研究会

株式会社日本総合研究所
調査部
池本 美香

次世代の国づくり

Copyright (C) 2017 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved. p.14

2. 2040年までの保育所・幼稚園ニーズの試算 (2) 全国ベースの試算結果

■保育所ニーズは少なくとも2020年頃までは増える

市町村のニーズ調査結果では、保育所ニーズのピークは3歳未満が2016年、3～5歳が2015年だが、妻の就業率や出生率が今後も上昇すれば、ピークは遅くなる。

■幼稚園ニーズは激減

子どもの数が減り、妻の就業率が高まることで、幼稚園ニーズは激減。

最大のケースでも、ほぼ半減(図表11) 2015年実績 151万人→2040年 74万人
最小のケースでは、4分の3以上減(図表10) →2040年 35万人

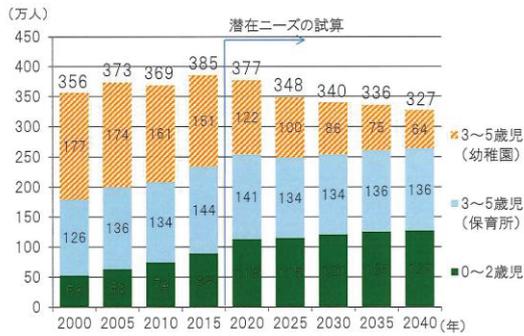
■保育所と幼稚園をあわせた保育ニーズ全体

最大(出生高位・就業高位)では、約10%増(図表12) 2015年実績 385万人→2040年 422万人
最小(出生中位・就業中位)では、約15%減(図表9) →2040年 327万人

■保育ニーズは出生率、妻の就業率の動向次第だが、標準ケース(出生中位・就業中位)では減少 幼稚園が認定こども園に移行しても園児が確保できない可能性

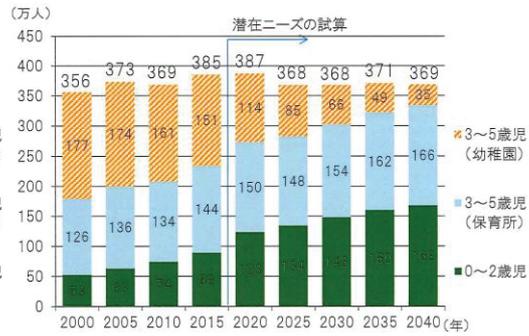
次世代の国づくり

図表9 保育所・幼稚園ニーズ
(出生中位・就業中位ケース)



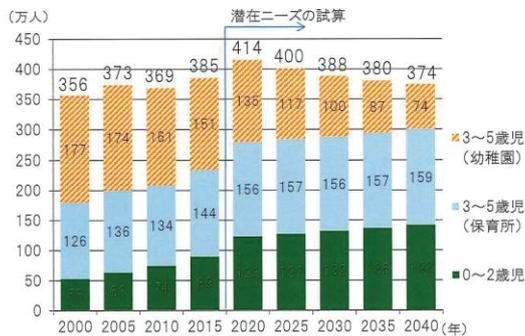
(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

図表10 保育所・幼稚園ニーズ
(出生中位・就業高位ケース)



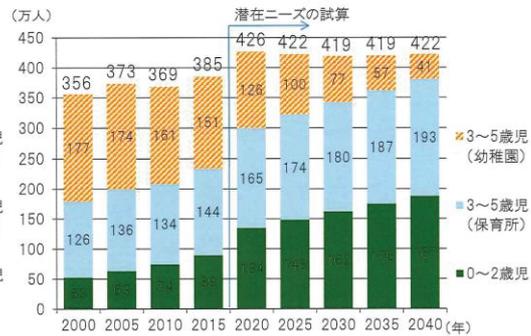
(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

図表11 保育所・幼稚園ニーズ
(出生高位・就業中位ケース)



(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

図表12 保育所・幼稚園ニーズ
(出生高位・就業高位ケース)



(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

2. 2040年までの保育所・幼稚園ニーズの試算 (3) 都道府県別の試算結果

■以下の3県をピックアップ

東京都:待機児童数が最も多い

愛知県:2014~2040年の5歳未満人口の減少率が最も小さい

青森県:2014~2040年の5歳未満人口の減少率が最も大きい

■東京都(図表13・14)

標準ケース(出生中位・就業中位)では保育ニーズ(保育所+幼稚園)は減少に向かう

出生率、就業率が高めに推移した場合は2020年以降保育ニーズは横ばい

■愛知県(図表15・16)

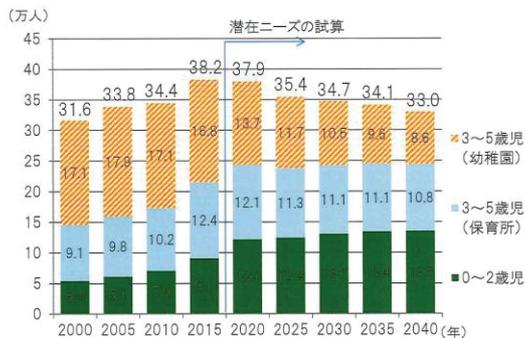
標準ケースでは減少するが、出生率、就業率が高めに推移した場合は2040年にかけて増加が続く

■青森県(図表17・18)

出生率、就業率が高めに推移した場合でも保育ニーズは減少に向かう

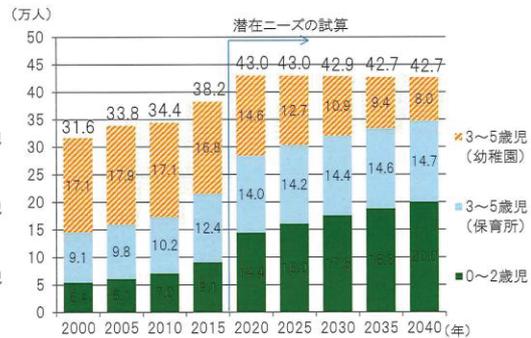
幼稚園ニーズがほとんどなくなる

図表13 東京都の保育所・幼稚園ニーズ
(出生中位・就業中位ケース)



(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

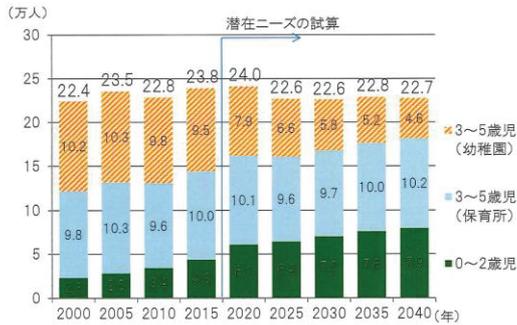
図表14 東京都の保育所・幼稚園ニーズ
(出生高位・就業高位ケース)



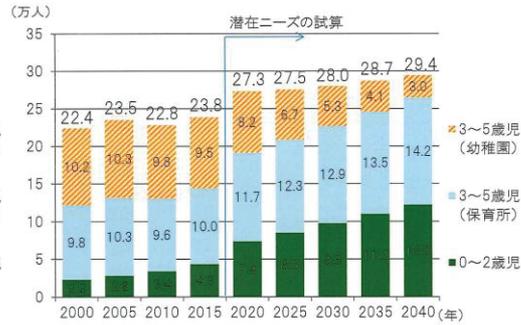
(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

図表15 愛知県の保育所・幼稚園ニーズ
(出生中位・就業中位ケース)

図表16 愛知県の保育所・幼稚園ニーズ
(出生高位・就業高位ケース)



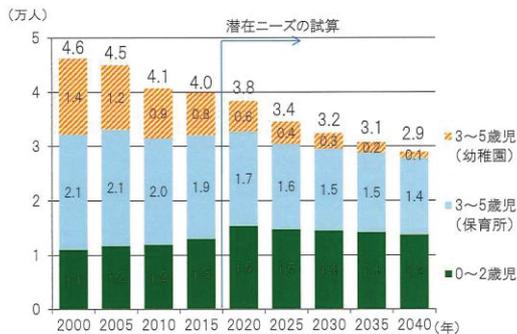
(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算



(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

図表17 青森県の保育所・幼稚園ニーズ
(出生中位・就業中位ケース)

図表18 青森県の保育所・幼稚園ニーズ
(出生高位・就業高位ケース)



(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算



(資料)各種統計をもとに日本総合研究所が試算

1. (書類等の題名)

愛知県内の保育・幼児教育系私立大学・短期大学の保育・幼児教育等専門職への就職者数及び就職率一覧(5年間)

本文 22 ページ、【資料 24】

2. (出典)

愛知県保育系学生就職連絡協議会資料に基づいて作成

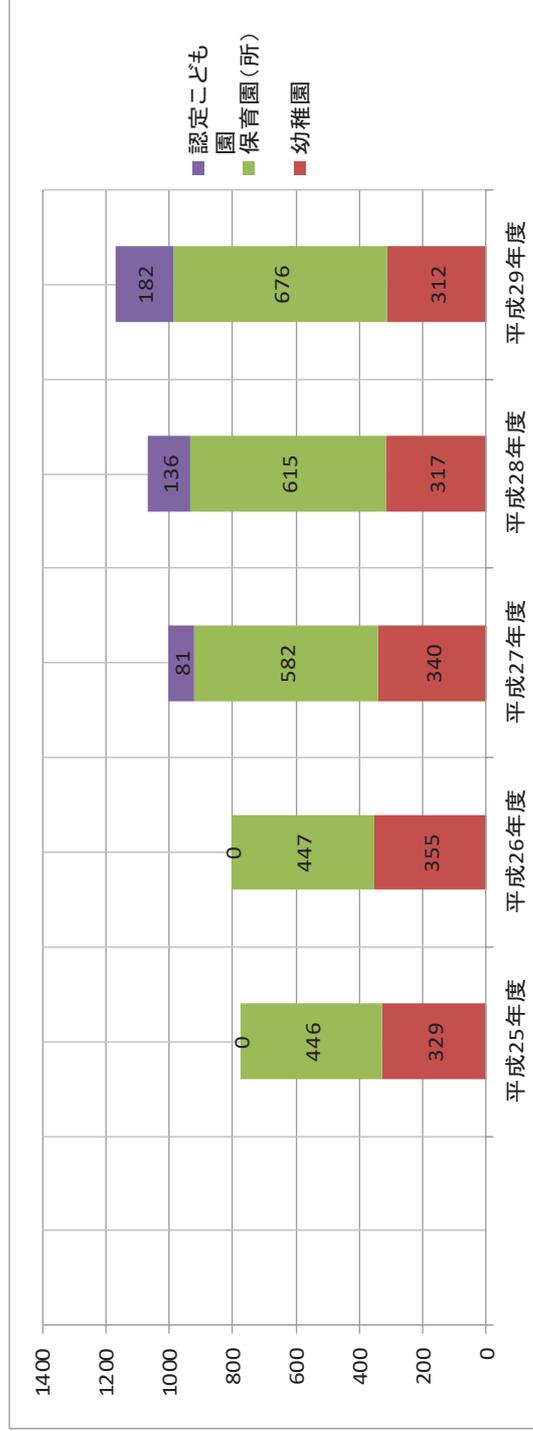
3. (その他の説明)

平成 25 年度から平成 29 年度までの当該年度 3 月 31 日現在の愛知県の保育・幼児教育系の大学 16 校、短期大学 12 校の保育・幼児教育等専門職への就職者数及び就職率をまとめたものである。

名古屋柳城短期大学への私立園よりの年度別求人園数状況

各年度3月31日現在

種別	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
幼稚園		329	355	340	317	312
保育園(所)		446	447	582	615	676
認定こども園		0	0	81	136	182
		775	802	1,003	1,068	1,170



(資料 26-1)

問6 貴園（所）における今後の採用方針について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 毎年積極的な採用を考えている
- 2 ある程度安定的な採用を考えている
- 3 増員が必要あるいは欠員が出た場合に採用を考える
- 4 採用は考えていない

問7 採用の際、求める能力の中で大切にすることを次の中から3つ選んでください。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 保育者としての資質・人間性 | 6 心身の健康 |
| 2 保育者に必要な知識 | 7 働く姿勢 |
| 3 保育者に必要な技術 | 8 その他 |
| 4 保育者としての意識・姿勢 | 9 () |
| 5 マナー・礼儀作法、コミュニケーション能力 | |

問8 貴園（所）において、設置を計画している名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科の卒業生の採用を考えますか。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討する
- 3 採用は考えない

問9 貴園（所）において、設置を計画している名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科の卒業生を採用する場合、何人程度採用を考えますか。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人以上

問10 名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科に対して、ご意見・ご要望・期待すること等ございましたら是非お聞かせください。

問いは以上です。お忙しい中ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

なお、回答いただきましたアンケートは同封の返信用封筒にて **6月22日（金）までに**ご返送いただければ幸甚です。

採用意向アンケート調査（集計結果）**【調査結果概要】**

本学院が平成 32 年度に設置を構想している「名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科 定員 70 名」について、社会的、地域的な人材需要動向を計るための事業者向けアンケート調査を以下のとおり実施した。なお、アンケートは無記名式で全 10 項目とした。

①調査期間

平成 30 年 6 月

②調査対象

愛知県、三重県、岐阜県内の私立幼稚園、私立保育園（所）、私立認定こども園、児童養護施設・障がい者施設等で、例年求人票様式を発送している保育事業所 856 ヶ所。

なお、内訳は私立幼稚園 307 ヶ所、私立保育園（所）413 ヶ所、私立認定こども園 55 ヶ所、保育所以外の児童養護施設 81 ヶ所である。

③調査方法

採用意向調査アンケート用紙（資料 28-1）、依頼状、新学部新学科の内容を極力周知する観点から別紙資料（資料 15-1）も郵送し、同封した返信用封筒にて回収する方法で実施した。

④回収件数

143 ヶ所（回収率 16.7%）

【調査結果概要】

問 1 貴園（所）の種別は次のどれに該当しますか。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	保育所・保育園	54	37.7
2	保育所以外の児童福祉施設	8	5.6
3	認定こども園	15	10.5
4	幼稚園	57	39.9
5	その他（障害者支援施設）	9	6.3
	合計	143	100.0

問 2 貴園（所）の所在地はどこですか。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	名古屋市	77	53.8
2	愛知県尾張地区（名古屋市を除く）	47	32.9
3	愛知県三河地区	13	9.1
4	岐阜県	4	2.8
5	三重県	1	0.7
6	その他（不明）	1	0.7
	合計	143	100.0

問3 貴園（所）において、この3年間に採用された人数は何人ですか。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	0人	11	7.7
2	1～3人	48	33.6
3	4～9人	64	44.7
4	10～15人	17	11.9
5	16人以上	3	2.1
	合計	143	100.0

問4 貴園（所）在職職員（幼稚園教諭あるいは保育士）の出身学校種別の多い順番をご記入ください。

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
四年制大学	1	32	23.4
	2	80	58.4
	3	25	18.2
	合計	137	100.0

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
短期大学	1	108	76.6
	2	30	21.3
	3	3	2.1
	合計	141	100.0

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
専門学校	1	5	4.5
	2	28	25.5
	3	77	70.0
	合計	110	100.0

問5 今後採用したい出身学校種別について順番（1～4）をご記入ください。

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
四年制大学	1	33	30.6
	2	39	36.1
	3	23	21.3
	4	13	12.0
	合計	108	100.0

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
短期大学	1	44	40.0
	2	47	42.7
	3	17	15.5
	4	2	1.8
	合計	110	100.0

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
専門学校	1	0	0.0
	2	17	18.1
	3	40	42.5
	4	37	39.4
	合計	94	100.0

カテゴリ	順番	件数/園（所）	全体/%
学校種別にはこだわらない	1	71	58.2
	2	8	6.6
	3	12	9.8
	4	31	25.4
	合計	122	100.0

※なお、参考までに学校種別ごと等に**1番と回答した件数**とその割合は下表のとおり。

カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
四年制大学	33	22.3
短期大学	44	29.7
専門学校	0	0.0
学校種別にはこだわらない	71	48.0
合計	148	100.0

問6 貴園（所）における今後の採用方針について、どのようにお考えですか。

（あてはまるものを1つだけ選ぶ）

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	毎年積極的な採用を考えている	42	29.4
2	ある程度安定的な採用を考えている	41	28.7
3	増員が必要あるいは欠員がでた場合に採用を考える	58	40.5
4	採用は考えていない	0	0.0
	未回答	2	1.4
	合計	143	100.0

問7 採用の際、求める能力の中で大切にすることを次の中から3つ選んでください。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	保育者としての資質・人間性	113	27.1
2	保育者に必要な知識	10	2.4
3	保育者に必要な技術	15	3.6
4	保育者としての意識・姿勢	69	16.6
5	マナー・礼儀作法、コミュニケーション能力	84	20.1
6	心身の健康	65	15.6
7	働く姿勢	56	13.4
8	その他	5	1.2
	合計	417	100.0

問8 貴園（所）において、設置を計画している名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科の卒業生の採用を考えますか。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	採用したい	88	61.5
2	採用を検討する	49	34.3
3	採用は考えない	2	1.4
	未回答・不明	4	2.8
	合計	143	100.0

問9 貴園（所）において、設置を計画している名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科の卒業生を採用する場合、何人程度採用を考えますか。

No.	カテゴリ	件数/園（所）	全体/%
1	1人	54	37.7
2	2人	47	32.9
3	3人以上	22	15.4
	未回答・不明	20	10.2
	合計	143	100.0

問10 名古屋柳城女子大学（仮称）こども学部こども学科に対して、ご意見・ご要望。期待すること等ございましたら是非お聞かせください。

①保育所・保育園

当園は柳城卒の学生さんに毎年多く就職してもらっており、大変、有り難く思っております。ただ、幼保連携認定こども園への移行準備をしておりますので、今後は、一種免許が必要となってまいりますので、四大になることは、とてもありがたいと思っております。

同じ単位を取ることについての方法は人それぞれに活かし方がありように感じております。2年間で集中的に学ぶ事で現場で発揮できる職員もいれば、4年間でじっくりと学ぶ事で学びを深く現場で発揮できる職員もいるように見受けられます。2年と4年の時間の違い使い方等を学生さんがしっかりと認識し、学ぶ事により社会に出た時に知識が活かされ本人の経験と共に保育者に育っていくと考えております。

歴史ある柳城さんのされる事ですので期待しています。頑張ってください。

4年制大学に移行するにあたり、理論と実践の力をより強めていってほしいと思いません新保育所保育指針の求める保育に対応できる保育士の育成を期待しています。

キリスト教に基づいて保育を行っている。当園にとっては同じくキリスト教の精神を大切にしながらの学びがとつてもありがたいです。引き続き学生の方が愛され愛する心がますます豊かになり保育現場でもいかせることを期待しています。

心身の健康、健全な思考が出来る人である事が大切と考えています。

子どもの発達や保育指針を学ぶことはもちろんですが、コミュニケーションが大切な場ですので、積極的に人と関わろう、知りたいとする気持ちを持つことが、これからより重要になっていくと思われます。そして保育のことだけでなく社会についても関心をむけ、目の前にいる子どもだけでなく、社会全体のなかで保育園の役割や保育士として自分の役割が考えられる事が大切だとおもいます。

明るく意欲、やる気のある学生を求めます。

貴大学よりいつも優秀な型をご紹介いただいています。短大で学んだ学生さんと4年制で学びを深めようという学生さん、それぞれの希望に対応していくという点で、学びの幅ができると思ひます。ただ、4年制ですと、違う分野に興味を持ち、保育の現場から離れてしまう方も増えてしまわれなかが心配する部分でもあります。社会的にも重要度が、増している幼児教育に携わるといふ点で、教養を広げ、いろいろな体験をする時間が増え、より意欲を持った人材を育成していただけることを期待します。

当園は今までも多くの柳城生を採用してきました。皆一人ひとりが保育者としての意識、姿勢をしっかりと持ち採用して良かったと思ひることがよくあります。4年卒になりますと「必要な知識」はもっていても「技術」の面で短大卒をなんら変わらないと感じています。四年間の中でモチベーションが下がり、残念に思ひことがあります。特に実習内容を充実していただき、現場で即戦力になる人材を求めます。

優秀なやる気のある保育士は本当に不足しております。人材の育成に期待しております。

短大、大学出身という学歴で、就職後の活躍の差はないと思ひます。大学出身者が理論的、又、知識をより持っているという印象は当園では感じていません。その人がどのような意識をもって学生生活を送ったかで、学びとっているものは違ってくると思ひますし、現場でもその差に気づかされます。それは、保育に関する事のみでなく、人間的にどのような生活を過ごしてきたかだと思ひます。

四年制大学への設置に対する期待は高いです。2年間(短大)では、授業と実習等により専門的なものが得られにくく思ひます。4年間の時間を得ることにより、より質の高い保育者に成ることが出来ると思ひます。本学園も貴学に対し大いに期待しております。

②認定こども園

短期大学でも保育者としての資質、人間性の部分で成長できている。学生もたくさん（当園では）就職いただいております。4年間の学生生活の中で保育者としての意識、専門性（障害児教育）、家庭（地域の支援）に期待しています。

保育者として、しっかりとした考え方、モラルなどを身につけていただければうれしいです。

保育者としてしっかりとした心持をお願いしたい。

今後も教育者、保育者、社会人としての資質、知識、意識、姿勢を持った人材の育成をお願い致します。期待しております。

③幼稚園

短期大学と同様、優れた人材の教育をお願いします。

柳城短大卒業生の職員はピアノも上手で働く意欲も真面目な人が多く優秀です。柳城のブランド力を活かし、今後も採用してよかったと思える学生さんの育成に期待します。

保育者としての技術やマナー、礼儀、表情豊かな学生さんを望み、お互い良き出会いにしたいです。

それぞれの領域の発達、心理学、ピアノ、歌など世界各国の教育理論を照らし合わせながら、日本のこれからの教育者を育ててもらいたい。就職したら終わりではありません。プロフェッショナルな人材、どのクラスでも、対応出来る人材がほしいです。

昨年度、柳城短大に求人をお願いしておりましたが希望者はゼロでした。数十年前から現在に至るまで柳城生を多く採用させていただいております。しかし、4年制大学に多くの子ども学科が誕生し、当園でも4年生を中心に求人票を送付しているのが、現状ですので、柳城が4年生を考えていらっしゃることは、少し遅いぐらいです。是非、柳城のお考えの下4年生大学で柳城生らしい学生の育成に励んで下さい。期待しております。

即戦力になる人材育成を期待します。（良い人材なら短大、四大は関係がないと思います。）

四年制大学での学びは、大変良いとおもいます。自分の保育のビジョンを持ち、落ち着いて、仕事が、出来、専門性を深めることは、これから必要となると思うのと、反面、労働が、共に受け入れられる精神的（メンタル）にトレーニングされた方でないと、大変とも考えます。

短大に引き続き、良い保育者になれる人材の育成をお願いします。

学生の質が落ちたと言われていた時期より少しずつ回復してきたと思います。しかし、まだまだ、「柳城生であれば！！」と言われていた頃のような人材育成を望みます。実践に生かせるような授業（ピアノ、手遊び、工作など）も大切にして頂きたいと思います。

とても楽しみで、期待できます。幼稚園教諭一種免許の取得が可能になると思いますが、小学校教諭免許はどうでしょうか？

1、4年生大学への移行は時期的に遅すぎると考える。①園児獲得も大変な時代で子どもの増加は考えにくい。この様な次世代の背景の中で、どこの大学でも名前こそ変えて幼児教育に関連した学部、学科を設置している。果たして学生の確保はできるか。②経済的事情で早めの資格取得で仕事を考える受験生はほかの短大を選択することになる。この数を把握しているか。③更に、近年質が落ちて来ている大学教育の中で他大学と比較し貴大学が何をもって大学の質、魅力を表すことができるか。施設、設備、特色ある教育など、他大学に無い新しい魅力の一つだけでも現すことができれば学生確保は可能であるが。④卒業する際の就職率を短大と4年生大学を比較し、具体的に受験生に違いをお得感で示すことができるか。 2、専攻科をおかず、3年生の短大として国際化した道を確保する。小学校で英語が入ってくる中で幼稚園でも必要とさせられる。一足早く先取りし他大学ができていない国際化の実習・研修を入れる。（6ヶ月の語学研修を含めた幼稚園実習 例 オーストラリア ニューサ ホームステイ先での生活）

多くの人々が、幼児教育、保育の道にあきらめず自信をもって進むことができるようお支えいただきたいです。短大や専門の学生には実直さを感じますが、四大は様々な経験ができるゆとりが反対に裏目に出てしまうことがあるように感じます。四大の中には、我々の道に進まない学生がほとんどというところもあれば、やむを得ないと他責にしている学校もあるように思います。ぜひともそのようなことがないよう、ご指導ご計画ください。

人のために自分ができることを…と真面目に考え行動する温かさのある「柳城」の良さ、伝統を必ず守っていただければと期待しています。

④保育所以外の児童養護施設その他

当園は児童養護施設です。保育所、幼稚園に比べ、数が少ないにもかかわらず、実習生の受け入れは、多い時で60～70人しかも宿泊で10日間となりますと、担当職員の負担が大きい。少子化となりますのに、保育職に就く人が少ない現状から、障害児など専門に勉強して頂くと施設は助かります。すべて総合するのではなく、幼保コースと障害養護コースに分けたらいかがでしょう。

当法人は障がい福祉サービスを提供しており、保育サービスは実施しておりません。しかしながら、こども学部こども学科卒業の方でも当法人の事業を理解し希望されれば受け入れは可能です。学生さんへ障がい者講座についての授業を実施していただければ幸いに存じます。

お世話になっております。当法人においても、障がい者分野（主に知的）では、保育士資格保有の方も多く働かれています。人を育てる点においては、共通する点も多いからかと思われれます。こういった福祉分野でも活躍の場があることを、生徒さんに知って頂けたら幸いです。

大人として身につけていなければならない事柄（マナー、礼儀作法、常識）を教えてほしい。（本来なら各家庭で教えていなければならないことですが。）

貴短大より実習生を受け入れており、優秀な人材として楽しみにしております。求人は、法人で一括して行っています。4年制が開設されれば、ますます貴校への期待が高まっています。今後ともよろしく申し上げます。

学童保育支援員や発達障がいの子どもを観ることができる保育者が不足しています。今後、学童保育や放課後デイで小学生の保育者が必要となってくることを考えると、こども学科にて、小学校教諭ではなく、生活や子育て支援も含めて支援ができる指導員の育成をお願いしたいです。